

— 令和元年度高知県学力定着状況調査結果の概要 —

令和2年3月
高知県教育委員会

— 目 次 —

1	調査の概要	1
2	本県の学力の状況	2
3	教育事務所別調査結果	3
4	教科別調査結果	
	教科別調査結果について	5
(1)	小学校国語	6
(2)	小学校算数	10
(3)	小学校理科	14
(4)	中学校国語	17
(5)	中学校社会	21
(6)	中学校数学	25
(7)	中学校理科	29
(8)	中学校外国語（英語）	33

令和元年度高知県学力定着状況調査の概要

I. 調査の目的

学力調査等の結果から明らかとなった学力についての課題の改善状況及び定着状況を把握し、学習指導の充実や指導方法の改善に生かすとともに、各学校及び教育委員会の継続的な学力向上検証改善サイクルを確立することを目的とする。

II. 調査への参加状況

◇ 参加学校数

小学校 第4学年 185校 第5学年 186校
 中学校 第1学年 102校 第2学年 105校
 義務教育学校（前期課程・後期課程） 2校

◇ 小学校解答児童数

第4学年

国語 4,972人 算数 4,973人

第5学年

国語 5,182人 算数 5,186人 理科 5,183人

◇ 中学校解答生徒数

第1学年

国語 4,269人 社会 4,272人 数学 4,273人
 理科 4,273人 外国語（英語） 4,266人

第2学年

国語 4,064人 社会 4,064人 数学 4,064人
 理科 4,068人 外国語（英語） 4,063人

III. 調査事項

(1) 教科

小学校第4学年…国語・算数

小学校第5学年…国語・算数・理科

中学校第1・2学年…国語・社会・数学・理科・外国語（英語）

※国語と外国語（英語）は、音声聞いて答える問題も出題

(2) 内容

基礎的・基本的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力等をみる問題
 選択式・短答式・記述式の問題形式

IV. 調査実施期間

校種ごとに下記の期間内の1日で実施することとする。

小学校・義務教育学校前期課程：令和元年12月16日（月）～12月19日（木）

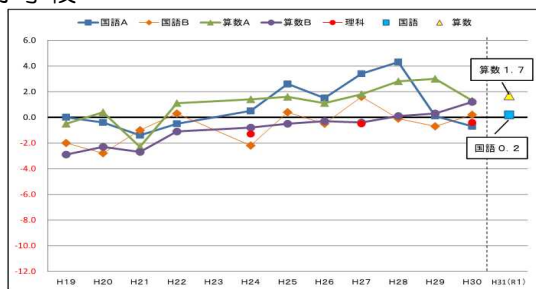
中学校・義務教育学校後期課程：令和元年12月9日（月）～12月12日（木）

市町村（学校組合）単位で小中統一の実施日とする場合は、小・中のいずれかの実施期間内であればよい。

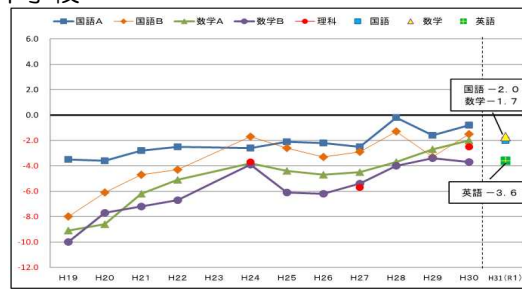
学力調査結果に見られる本県の学力の状況

I 全国学力・学習状況調査結果（平均正答率の経年変化）

小学校



中学校



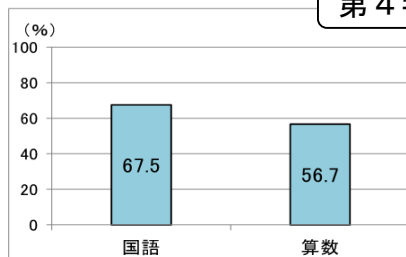
現状

- 小学校については、国語・算数ともに全国平均を超えており、全体としては全国平均の学力を身に付けているといえる。また、算数は、引き続き全国上位の学力を身に付けている。
- 中学校については、国語・数学は、全国平均に届いていないものの、着実に上昇傾向にある。特に、数学については、全国平均まであと一歩という状況である。初めて実施となった英語は、全国平均に達しておらず、言語活動を通して、4つの技能（聞く・話す・読む・書く）を総合的に活用できる力を身に付けさせる学習を進めることが求められる。

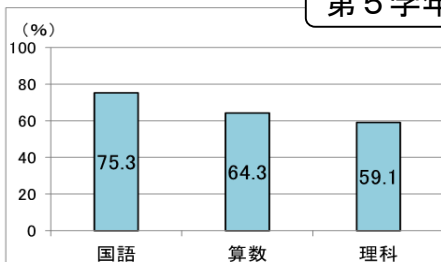
II 高知県学力定着状況調査結果（令和元年度の平均正答率）

小学校調査

第4学年

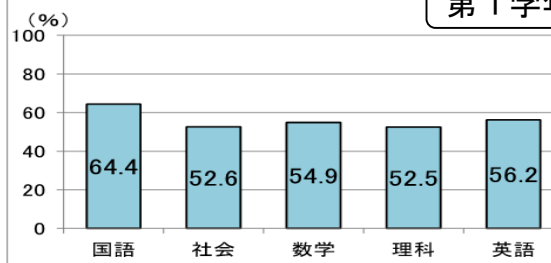


第5学年

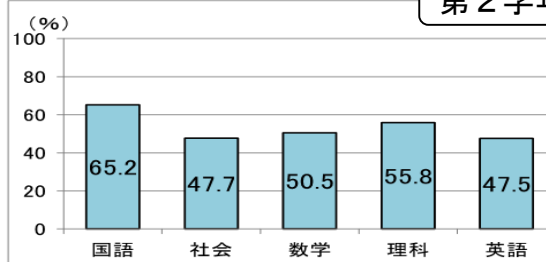


中学校調査

第1学年



第2学年



現状

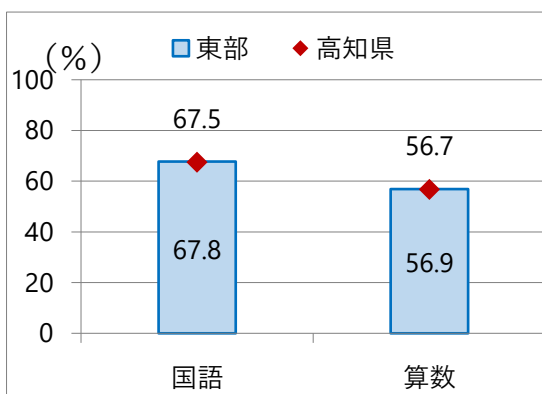
- 本年度の全国学力・学習状況調査や過去の当調査と同様に、基礎的・基本的な知識・技能を問う問題の正答率は高い状況にある。
- 文章・図表・グラフなどから必要な情報を根拠として読み取ることや複数の情報を関連付けて自分の考えを表現する力、他教科で学んだことや日常生活と関連付けて問題解決を図る力に課題が見られる。



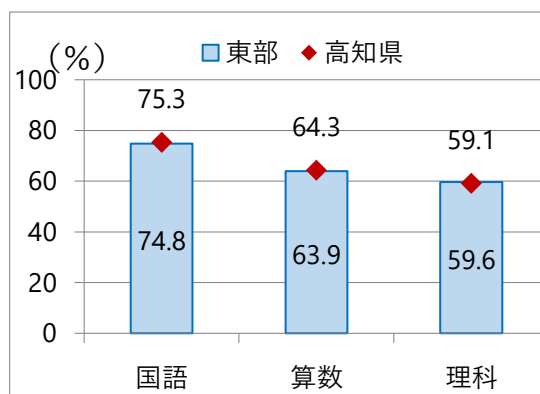
3 教育事務所別調査結果

東部教育事務所

小学校第4学年

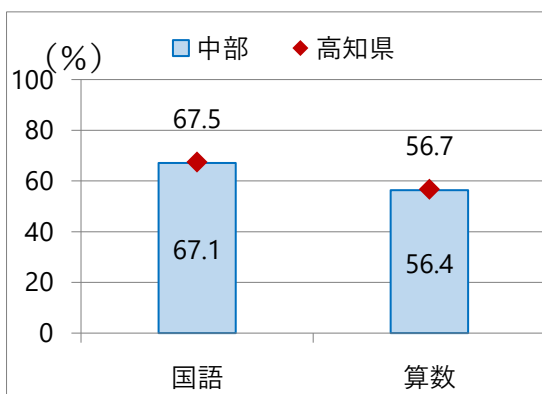


小学校第5学年

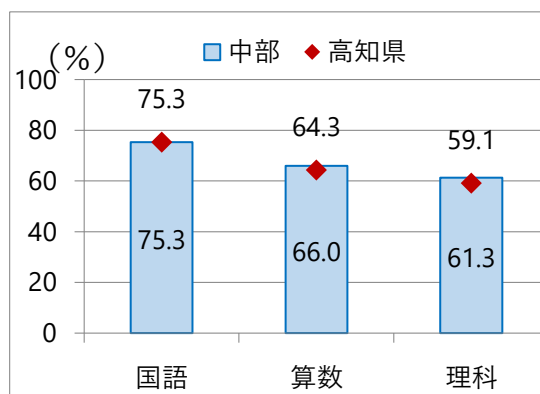


中部教育事務所

小学校第4学年

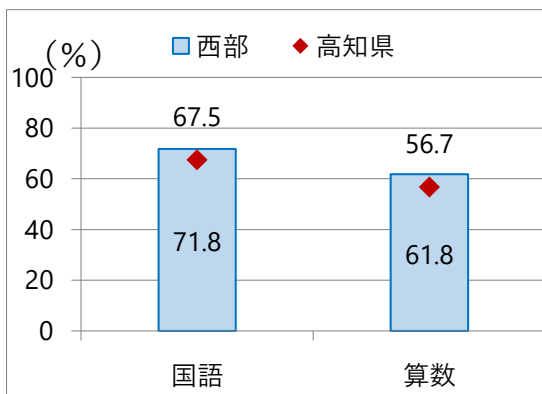


小学校第5学年

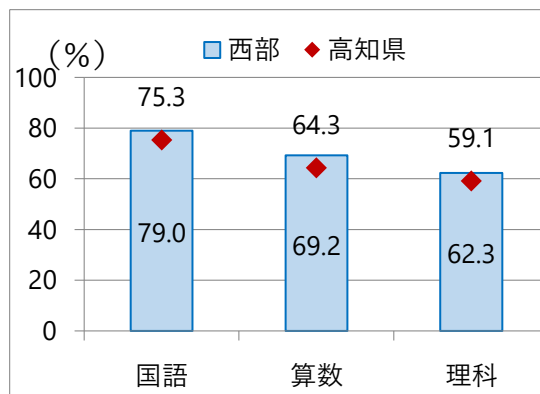


西部教育事務所

小学校第4学年

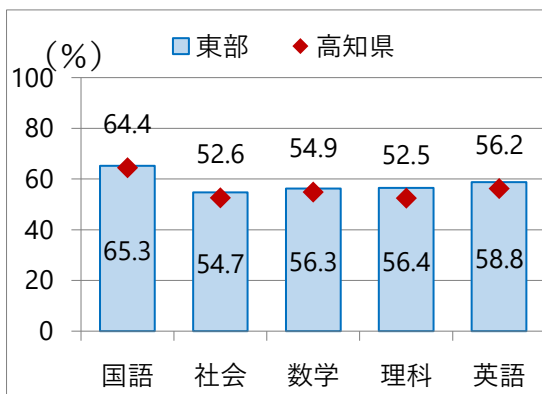


小学校第5学年

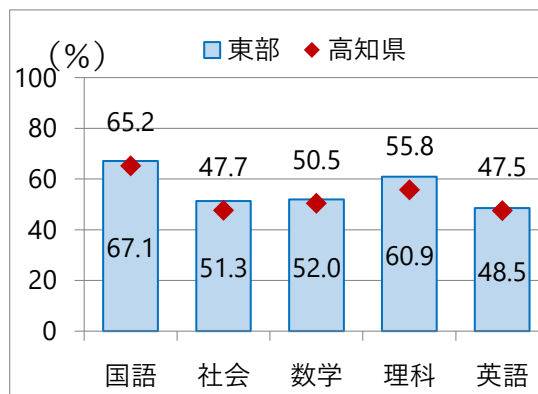


東部教育事務所

中学校第1学年

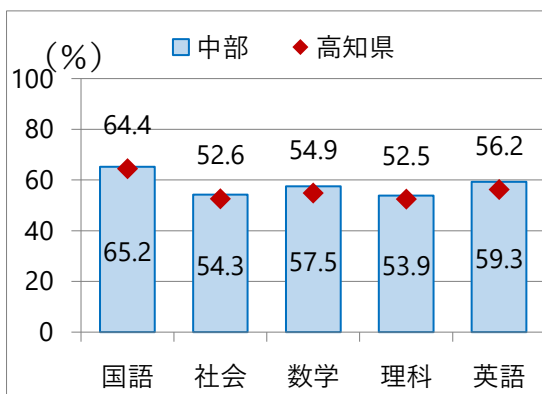


中学校第2学年

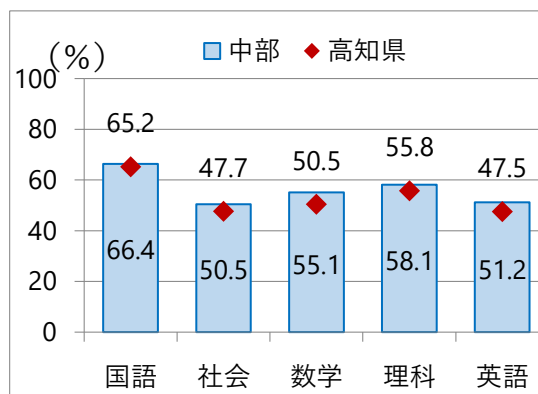


中部教育事務所

中学校第1学年

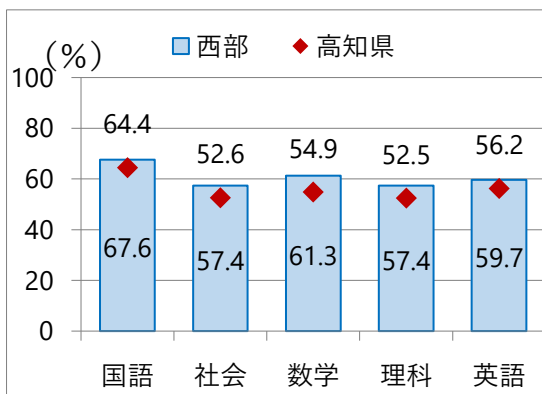


中学校第2学年

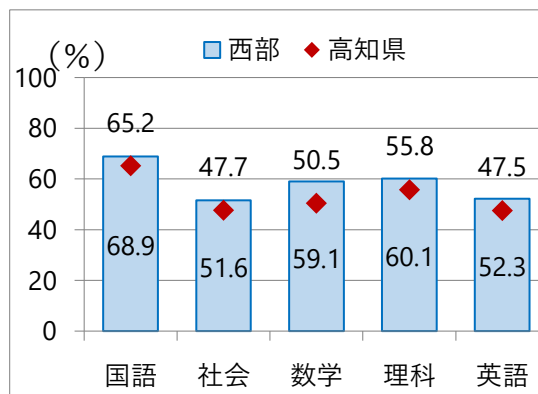


西部教育事務所

中学校第1学年



中学校第2学年



4 教科別調査結果

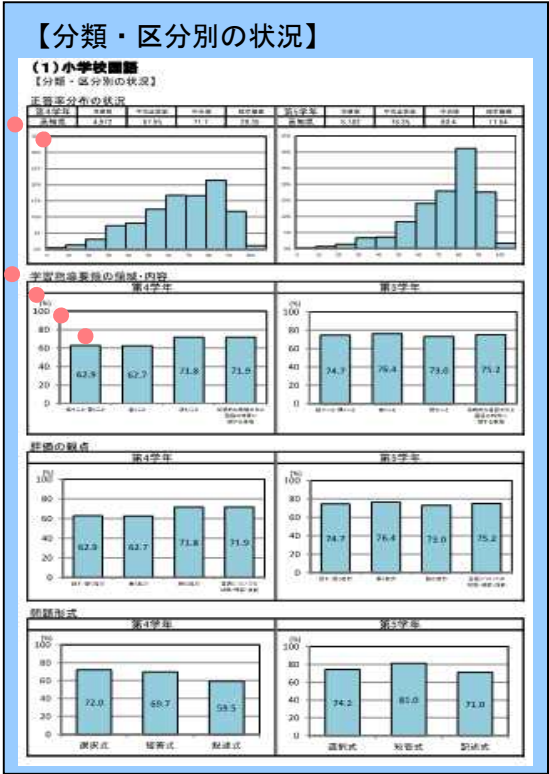
教科別調査結果について

今回の調査結果における高知県の状況について、各教科の【分類・区分別の状況】、【設問別正答率】、【成果と課題】を示していますので、各学校の分析にご活用ください。

正答率分布グラフを示しています。

領域・内容、評価の観点、問題形式による平均正答率を示しています。

平均正答率やグラフの形状、他の数値の情報と合わせて分析してください。



【設問別正答率】

設問	内容	高知県	香川県	徳島県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	熊本県	鹿児島県
1	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
2	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
3	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
4	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
5	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
6	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
7	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
8	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
9	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
10	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
11	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
12	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
13	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
14	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
15	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
16	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
17	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
18	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
19	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
20	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
21	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
22	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
23	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
24	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
25	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
26	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
27	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
28	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
29	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
30	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
31	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
32	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
33	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
34	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
35	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
36	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
37	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
38	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
39	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
40	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
41	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
42	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
43	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
44	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
45	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
46	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
47	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
48	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
49	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				
50	読み取った内容から、適切な言葉を選び、空欄に記入する。	74.7	76.4	73.0	75.2	71.2				

設問ごとに、高知県の正答率と無解答率を示しています。

【成果と課題】

令和元年度 高知県学力定着状況調査 小学校国語科

1. 近況・改善が見られる問題

第4学年 正答率 58.3%

第5学年 正答率 67.7%

● 問題の難易度
 文章の内容を正確に読み取ることができ、適切な言葉を選び、空欄に記入する。

● 問題の内容
 文章の内容を正確に読み取ることができ、適切な言葉を選び、空欄に記入する。

● 問題の形式
 文章の内容を正確に読み取ることができ、適切な言葉を選び、空欄に記入する。

○ 分析・考察
 文章の内容を正確に読み取ることができ、適切な言葉を選び、空欄に記入する。

○ 学習指導に当たって
 文章の内容を正確に読み取ることができ、適切な言葉を選び、空欄に記入する。

2. 課題が見られる問題

第4学年 正答率 27.5%

第5学年 正答率 7.7%

● 問題の難易度
 文章の内容を正確に読み取ることができ、適切な言葉を選び、空欄に記入する。

● 問題の内容
 文章の内容を正確に読み取ることができ、適切な言葉を選び、空欄に記入する。

● 問題の形式
 文章の内容を正確に読み取ることができ、適切な言葉を選び、空欄に記入する。

○ 分析・考察
 文章の内容を正確に読み取ることができ、適切な言葉を選び、空欄に記入する。

○ 学習指導に当たって
 文章の内容を正確に読み取ることができ、適切な言葉を選び、空欄に記入する。

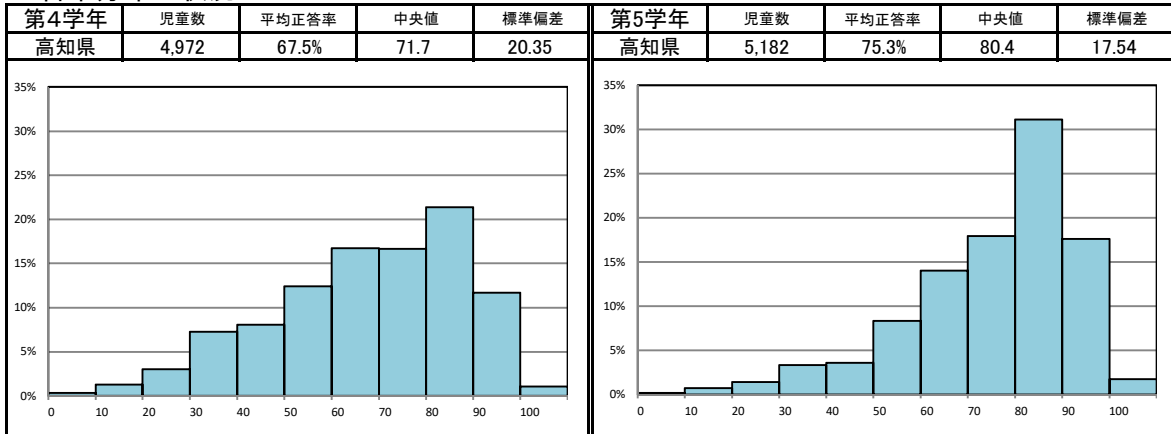
本年度の調査結果を受け、指導方法の改善を図る際のポイントを示しています。

上段は、「成果・改善が見られる問題」とその分析・考察、学習指導に当たってのポイント、下段は、「課題が見られる問題」とその分析・考察、学習指導に当たってのポイントを示しています。

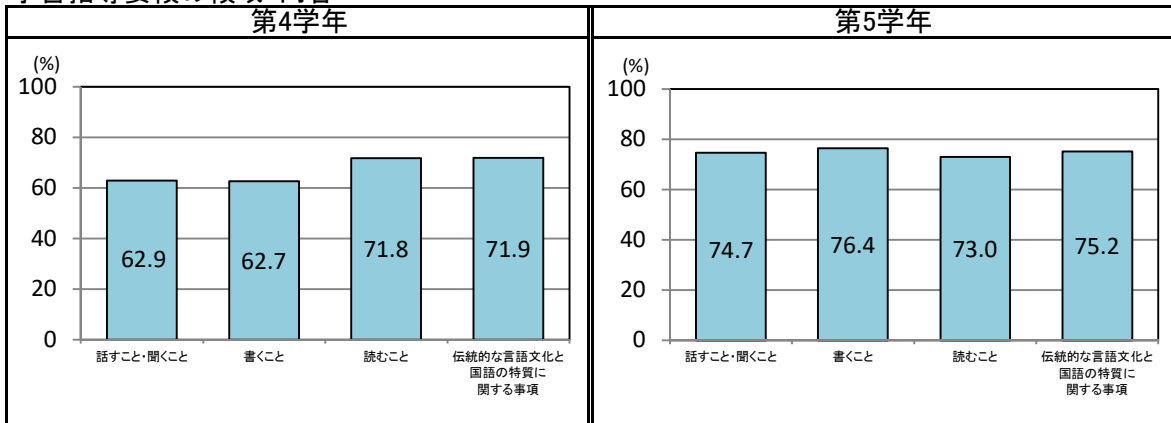
(1) 小学校国語

【分類・区別の状況】

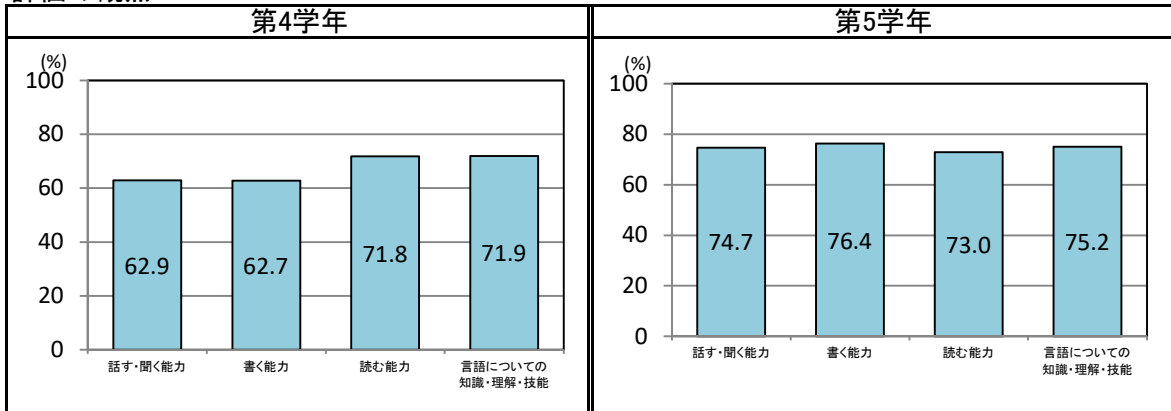
正答率分布の状況



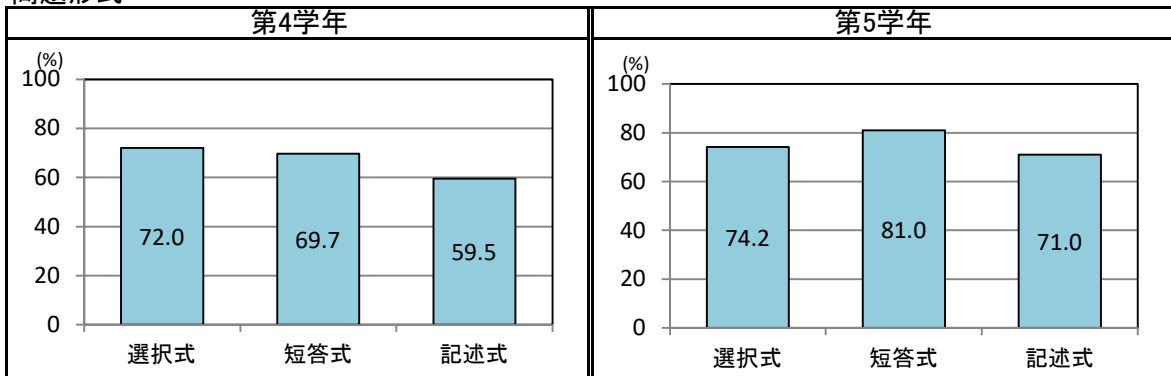
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



令和元年度高知県学力定着状況調査 設問別正答率【小学校第4学年国語】

問題番号			問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式		高知県	
通し番号	大問	小問			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	語の伝統的な言語文化と国	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解・技能	言語について	選択式	短答式	記述式
1		(1)	金子さんの意見として、適切なものを選ぶ。	話の中心に気を付けて聞く。	エ				○			○			95.5	0.1
2	1	(2)	田中さんの話し方の工夫として、適切なものを選ぶ。	相手や目的に応じて、理由や事例を挙げながら筋道を立てて話す。	イ				○			○			46.1	0.4
3		(3)	田中さんの発言をまとめた言葉を□□に書く。	司会者の役割を理解して、進行に沿って話し合う。	オ				○				○		60.1	9.0
4		①	漢字を読む。(天候にめぐまれる。)	当該学年までに配当されている漢字を読む。				(1)ウ(イ)			○		○		86.5	1.8
5		(1)②	漢字を読む。(長年の希望がかなう。)	当該学年までに配当されている漢字を読む。				(1)ウ(イ)			○		○		96.9	0.6
6		③	漢字を読む。(まるい輪をえがく。)	当該学年までに配当されている漢字を読む。				(1)ウ(イ)			○		○		84.4	0.9
7	2	①	漢字を書く。(友人から <u>そうだん</u> を受ける。)	前学年までに配当されている漢字を正しく書く。				(1)ウ(イ)			○		○		51.0	6.1
8		(2)②	漢字を書く。(重い <u>にもつ</u> を持つ。)	前学年までに配当されている漢字を正しく書く。				(1)ウ(イ)			○		○		76.0	3.6
9		③	漢字を書く。(いそいで家に帰る。)	前学年までに配当されている漢字を正しく書く。				(1)ウ(イ)			○		○		75.5	7.9
10		(1)	文の述語として適切なものを選ぶ。	文中における述語を捉える。				1・2(1)イ(カ)			○	○			67.4	0.2
11	3	(2)	指示語の使い方として適切なものを選ぶ。	指示語の使い方を理解し、使う。				(1)イ(ク)			○	○			91.1	0.2
12		(3)	意味を考えながら、漢字を正しく書く。	文章を書く際に、漢字のもつ意味を考えながら正しく使う。				(1)ウ(イ)			○		○		17.9	6.8
13		(1)	文章からぬけている言葉があてはまる場所として、適切なところを選ぶ。	登場人物の行動を基にして、場面の移り変わりを捉える。			ウ				○		○		77.9	1.5
14	4	(2)	「みんなに、今のこと、話してみようよ。」と言ったときのカヤの気持ちとして、適切なものを選ぶ。	叙述を基にして、登場人物の気持ちを捉える。			ウ				○		○		64.5	1.0
15		(3)	元気よく歩き出したときのカヤの気持ちを述べた発言として、適切なものを選ぶ。	場面の移り変わり結び付けて登場人物の気持ちを具体的に想像する。			ウ				○		○		72.8	1.2
16	5	(1)	文章の工夫として、適切なものを選ぶ。	自分の考えが明確になるように、文章を構成する。			イ				○		○		77.1	0.6
17		(2)	【ノート】の内容をもとに、□□にあてはまる文を書く。	分かりやすく説明するために事例などを挙げて書く。			ウ				○			○	58.3	5.0
18		(1)	【インタビュー】の仕方や【メモ】の取り方の工夫として、適切なものを選ぶ。	必要な事柄について、調べたことの要点をメモする。	ア				○				○		55.2	1.9
19	6	(2)	【インタビュー】と【メモ】をもとに、□□にあてはまる文を書く。	相手や目的に応じて、理由や事例を挙げながら筋道を立てて話す。	イ				○				○		57.5	8.3
20			2段落構成で書く。	段落相互の関係などに注意して文章を構成する。							○			○	60.2	10.9
21	7		取材メモをもとに「だれに」「どんな」話を聞いたのかを書く。	目的に応じて、書こうとすることの中心を明確にして書く。			ウ				○			○	54.9	10.9
22			体育係として、持ちきゆう走大会に向けて、クラスみんなによびかける言葉を書く。	目的や必要に応じて、取材メモを基に、自分の考えを書く。							○			○	54.3	10.9
23			121字から180字の間で書く。	指定された文字数で文章を書く。							○			○	71.4	10.9

令和元年度高知県学力定着状況調査 設問別正答率【小学校第5学年国語】

問題番号			問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式		高知県	
通し番号	大問	小問			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	語の伝統的な言語文化と国	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解・技能	言語について	選択式	短答式	記述式
1		(1)	木村さんの意見として、適切なものを選ぶ。	話し手の意図を捉えながら聞く。	エ							○			93.6	0.0
2	1	(2)	山田さんの話し方の工夫として、適切なものを選ぶ。	目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら話す。	イ							○			82.7	0.1
3		(3)	山田さんの意見を受けた坂本さんの提案を書く。	話し合いの参加者として、立場を明確に話し合う。	オ								○		47.8	6.9
4		①	漢字を読む。(責任を感じている。)	当該学年までに配当されている漢字を読む。									○	○	97.5	0.7
5		(1) ②	漢字を読む。(額にあせをかく。)	当該学年までに配当されている漢字を読む。									○	○	79.0	2.1
6		③	漢字を読む。(はしごを支える。)	当該学年までに配当されている漢字を読む。									○	○	96.9	0.5
7	2	(1) ①	漢字を書く。(選挙でとうひょうする。)	前学年までに配当されている漢字を正しく書く。									○	○	50.8	7.0
8		(2) ②	漢字を書く。(やくそくをやぶってはいけない。)	前学年までに配当されている漢字を正しく書く。									○	○	81.8	3.2
9		③	漢字を書く。(しずかな部屋ですごす。)	前学年までに配当されている漢字を正しく書く。									○	○	81.5	3.7
10		(1)	修飾語として適切なものを選ぶ。	修飾と被修飾との関係など、文の構成について正しく理解する。									○	○	39.0	0.3
11	3	(2)	敬語の使い方として適切なものを選ぶ。	相手や場面に応じて、適切に敬語を使うことができる。									○	○	71.1	0.1
12		(3)	漢字の意味を考えながら、同音異義語を正しく書く。	文章を書く際に、漢字のもつ意味を考え、同音異義語に注意して正しく使う。									○	○	79.3	4.2
13		(1)	「ヤツ」の正体として、適切なものを選ぶ。	叙述と関係付けて、場面の様子を捉える。					エ				○	○	79.4	0.1
14	4	(2)	勇次との会話のあとの「ぼく」の気持ちとして、適切なものを選ぶ。	登場人物相互の関係に基づいた会話から登場人物の心情を捉える。					エ				○	○	80.7	0.2
15		(3)	「ぼく」が「ヤツ」をどう思っているかについて述べた発言として、適切ではないものを選ぶ。	叙述と関係付けて、登場人物の心情を捉える。					エ				○	○	58.7	0.3
16		(1)	【ポスター案】の工夫として、適切なものを選ぶ。	図を用いて、自分の考えが伝わるように書く。					エ				○	○	79.7	0.2
17	5	(2)	【話し合い】の内容をもとに、【ポスター案】の□にあてはまる文を書く。	表現の仕方をよりよくするために助言する。					カ				○	○	64.1	3.4
18		(1)	【お知らせの案】を書き直す理由として、適切なものを選ぶ。	与えられた情報を読み取り、表現の効果を確かめる。					オ				○	○	82.7	0.5
19	6	(2)	平野さんと青山さんの発言をもとに、【お知らせの案】の□にあてはまる言葉を書く。	与えられた情報を読み取り、目的に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりする。					ウ				○	○	65.7	4.8
20			2段落構成で書く。	段落相互の関係などに注意して文章を構成する。									○	○	75.8	7.7
21			2つの案のうち、どちらがよいと思うかを書く。	事実と意見を区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりする。					ウ				○	○	89.2	7.7
22	7		よいと思った理由を、選ばなかった案と比べながら書く。	事実と意見を区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりする。									○	○	78.1	7.7
23			141字から200字の間で書く。	指定された文字数で文章を書く。									○	○	76.2	7.7



成果・改善が見られる問題

<p>第4学年 正答率 58.3%</p> <p>■問題番号 5(2)</p> <p>■問題の内容 市立図書館について調べたことをまとめた【ノート】の内容を基に、説明する文章を書く。</p> <p>■出題のねらい 分かりやすく説明するために事例などを挙げて書く。</p>	<p>第5学年 正答率 65.7%</p> <p>■問題番号 6(2)</p> <p>■問題の内容 平野さんと青山さんの発言を基に、注目してほしいところを書く。</p> <p>■出題のねらい 与えられた情報を読み取り、目的に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりする。</p>
--	---



言語活動の“質”を高める

○分析・考察

相手や目的・意図に応じて、事例を挙げて分かりやすく説明したり、目的に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすることに改善傾向が見られる。このことから、日々の授業において、文章を書く必要性をもたせた言語活動を設定した授業が展開されていると考えられる。

○学習指導に当たって

言語活動の質を高めるためには、伝えたい相手・伝える目的を明確にすることが大切である。
例えば、「地域の科学館について説明する文章を書く」といった言語活動を設定した場合、さらに、目的や相手を明確にすると、「科学館の利用者を増やすために（目的）、科学館を利用したことがない人に（相手）科学館のよさについて説明する文章を書く」といった言語活動が考えられる。このことで、「利用者を増やすためにはどのような情報が必要か」、「利用したことがない人に分かりやすく説明するためにはどうすればよいか」など必然的な問いが生まれ、収集した情報を精査したり、具体例の挙げ方を工夫したりする学習につなげることが期待できる。



課題が見られる問題

<p>第4学年 正答率 17.9%</p> <p>■問題番号 3(3)</p> <p>■問題の内容 漢字の意味を考えながら、文脈に合う漢字に正しく書き直す。</p> <p>■出題のねらい 文章を書く際に、漢字のもつ意味を考えながら正しく使う。</p>	<p>第5学年 正答率 79.3%</p> <p>■問題番号 3(3)</p> <p>■問題の内容 漢字の意味を考えながら、文脈に合う漢字に正しく書き直す。</p> <p>■出題のねらい 文章を書く際に、漢字のもつ意味を考え、同音異義語に注意して正しく使う。</p>
--	--



他教科・日常生活で意図的に使う

○分析・考察

文章を書く際に、漢字のもつ意味を考えながら正しく使うことは、ここ数年、各学力調査において課題として挙げられているが、本調査においても、一問一答形式で漢字を書き取る問題と比べると正答率が大幅に低い。このことから、形式理解にとどまらず、漢字のもつ意味を理解したうえで、活用場面を考える指導が必要である。

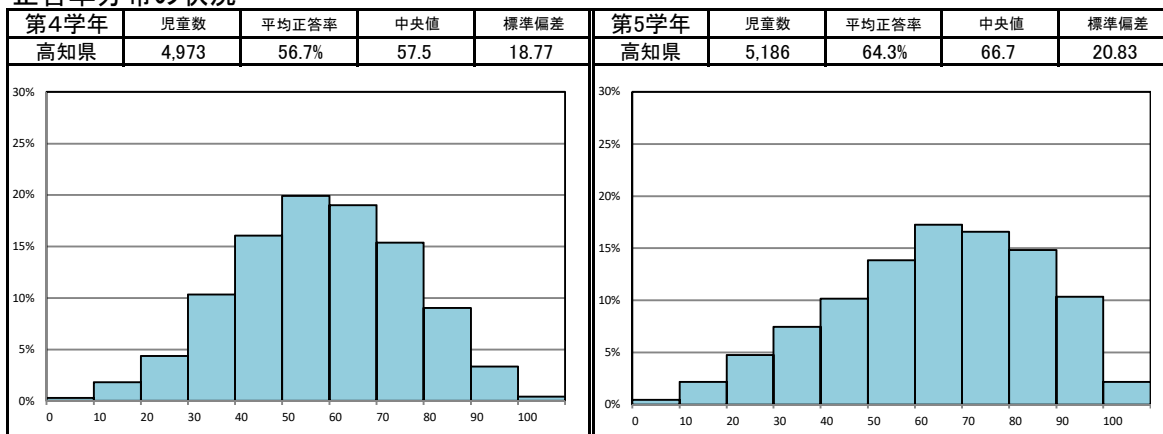
○学習指導に当たって

漢字指導に当たっては、新出漢字の読み方や字形に注意して繰り返し練習することにとどまらず、漢字のもつ意味を理解し、日常生活における活用場面を考えることが大切である。
例えば、「対象」を学習する授業においては、「働きかける相手」といった意味理解に加え、「小学生を対象にしたアンケートに答える」といった例文で使い方を押さえたうえで、「対称（二つの線、点、面などが釣り合う）」や「対照（ある物事を他と照らし合わせ比べる）」などの同音異義語と比較し、他教科や日常生活において、使い分けを考える学習展開を意図的に仕組むことが効果的である。

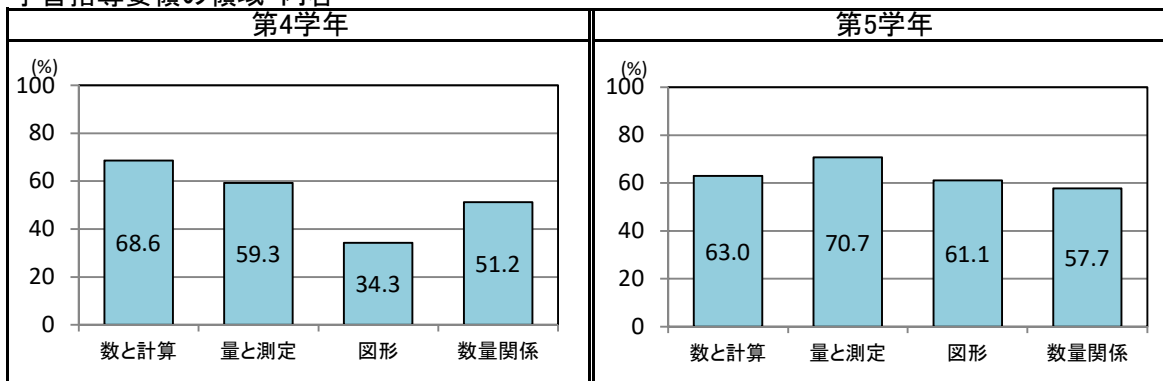
(2) 小学校算数

【分類・区別の状況】

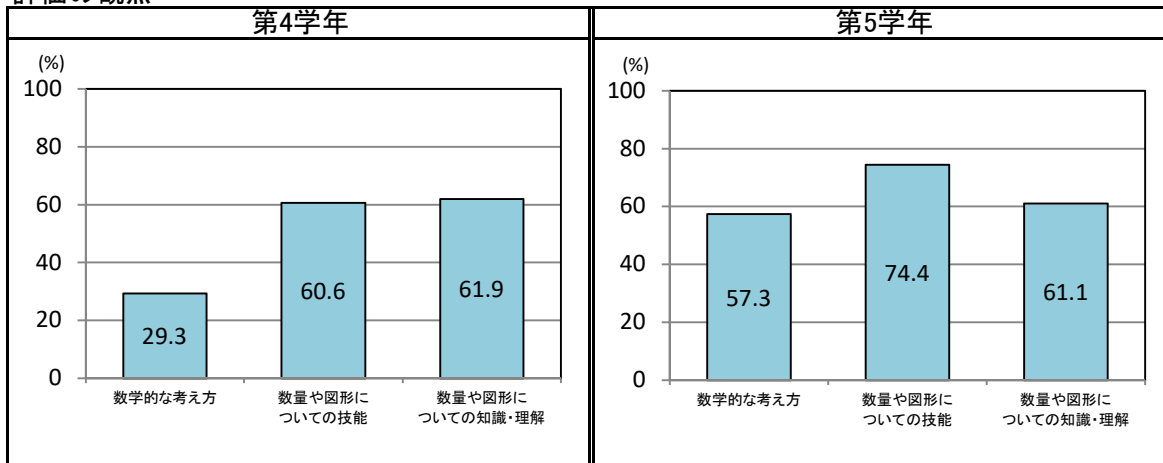
正答率分布の状況



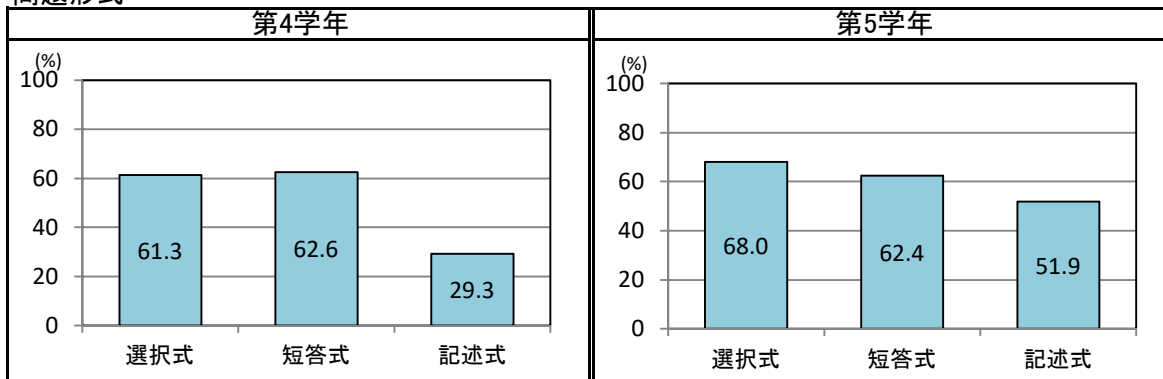
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



令和元年度高知県学力定着状況調査 設問別正答率【小学校第4学年算数】

問題番号			問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式		高知県	
通し番号	大問	小問			数と計算	量と測定	図形	数量関係	数学的な考え方	数量・量や図形についての技能	数量・量や図形についての知識	選択式	短答式	記述式	正答率(%)
1	1	(1)	示された角度として正しいものを選ぶ。	分度器の中に示された角の大きさを読み取ることができる。	(2)イ				○		○			81.7	0.0
2		(2)	180°より大きい角の大きさを求める式を選ぶ。	180°より大きい角の大きさの求め方を理解している。	(2)ア、イ					○	○			87.5	0.2
3		(1)	長さが1mのさく20個を縦に2個並べて長方形の畑をつくる時の、横に並べる個数と、畑の面積を書く。	縦の長さが一定である長方形の横の長さや面積を求めることができる。	(1)イ				○			○		34.7	2.1
4	2	(2)	正方形と長方形の2つの畑の大きさを比べているかなたさんの説明の中の、正方形と長方形の面積を求めるための式と、求めた面積を書く。	正方形と長方形の面積を求める式を立式し、答えを求めることができる。	(1)イ				○			○		90.7	1.3
5		(3)	⑤の畑が正方形でないわけを、四角形の角の大きさに着目して書く。	正方形とひし形の特徴を理解し、角が直角ではないことから、正方形ではないことを説明することができる。	(2)ア、イ	(1)イ			○				○	35.8	8.6
6	3	(1)	1兆は10億を何倍した数かについて、正しいものを選ぶ。	数の相対的な大きさについて理解している。	(1)ア					○	○			60.3	0.2
7		(2)	数直線で、矢印が表す数として正しいものを選ぶ。	数直線上に示された数を読み取ることができる。	(1)ア					○	○			62.9	0.1
8	4		四捨五入して十の位までのがい数にしたとき、140になる数の範囲を選ぶ。	概数に対応する数の範囲を理解している。	(2)イ					○	○			55.8	0.3
9	5		200-40×3で答えが求められる問題を選ぶ。	四則混合した式の意味について理解している。			(2)ア			○	○			56.5	0.4
10	6		96×8を分配法則を用いて計算したときの途中式を選ぶ。	分配法則を理解している。			(3)ア			○	○			66.5	0.7
11	7	(1)	折れ線グラフと棒グラフを組み合わせたグラフから、図書館の利用者数がいちばん少なかったのは平成何年度かを書く。	折れ線グラフと棒グラフを組み合わせたグラフを正しく読み取ることができる。	(4)イ				○			○		62.3	1.2
12		(2)	図書館の利用者数が減ると、本の貸出冊数が減るということが間違っているわけを書く。	折れ線グラフと棒グラフを読み取り、それを根拠に、示された事柄が正しくない理由を説明することができる。	(4)イ			○				○		19.6	13.8
13	8		94÷2の筆算の中の8が何を表しているのかを選ぶ。	わり算の筆算の各段階の数の意味を理解している。	(3)ア					○	○			65.3	0.5
14	9	(1)	スケッチブックのねだんが270円、ノートのねだんが90円するとき、スケッチブックのねだんをノートのねだんの何倍かとしたときの正しい図を選ぶ。	場面と図とを関連づけて、2つの数量の関係を理解している。	(3)イ					○	○			84.4	0.7
15		(2)	スケッチブックのねだんが270円、ノートのねだんが90円するとき、スケッチブックのねだんがノートのねだんの何倍かを求める式を選ぶ。	倍の求め方が、(比べる量)÷(もとにする量)になることを理解している。	(3)イ					○	○			82.6	0.7
16	10		教室のおよその面積として正しいものを選ぶ。	身近にあるものの面積の感覚を身に付けている。	(1)ア					○	○			54.4	0.7
17	11		方眼紙上で、⑦の直線と垂直な直線がすべて書かれているものを選ぶ。	垂直な二直線の位置関係を理解している。		(1)ア				○	○			28.2	0.8
18	12		半径が等しい2つの円を用いてひし形をかいたときに使ったひし形の特徴を選ぶ。	円の性質をもとに、ひし形の特徴を理解している。		(1)イ				○	○			38.8	1.3
19	13	(1)	9時45分に南駅に着いたとき、おばさんの家に何時何分に着くのかをことばや式を使って書く。	時刻表とバスでかかる時間から、目的地に着く時刻を計算し、その求め方を説明することができる。	3(3)イ				○			○		32.5	7.0
20		(2)	11時25分に南駅に着いたとき、おばさんの家に12時までに着く方法を選ぶ。	時刻表と電車・バスでかかる時間から、ある時刻までに目的地に着くことができるかどうか、判断することができる。	3(3)イ				○		○			33.4	5.3

令和元年度高知県学力定着状況調査 設問別正答率【小学校第5学年算数】

問題番号			問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式		高知県	
通し番号	大問	小問			数と計算	量と測定	図形	数量関係	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)
1	1	(1)	160kmの道のりを2時間で走ったときの時速を求める式を選ぶ。	速さの求め方が、(長さ)÷(時間)になることを理解している。		6(4)					○	○			88.4	0.0
		(2)	分速120mは、秒速何mかを選ぶ。	速さの単位の関係を理解し、分速を秒速に直すことができる。		6(4)					○	○			69.4	0.2
3	2		●が0でない数のとき、計算の答え▲と●の大きさの関係を調べ、そのわけを書く。	小数の乗法において、乗数が1より小さいとき、積が被乗数より小さくなることを理解している。	(3)ア						○		○		28.8	1.9
4	3		$53.7 \div 8.2 = 6$ あまり4.5の検算の式にあてはまる数を選ぶ。	余りのある小数の除法の場面において、被除数を求める式について理解している。	(3)イ						○	○			80.0	0.2
5	4		円の半径を正しく表しているものを選ぶ。	円の半径について理解している。				3(1)ウ			○	○			57.4	0.0
6	5		四角形ABCDに合同な四角形EFGHにおいて、辺FGの長さを選ぶ。	2つの合同な四角形について、対応する辺を判断することができる。				(1)イ			○	○			85.0	0.1
7	6	(1)	Aの箱にジュースを隙間なく詰めるとき、縦に何個、横に何個並ぶかを選ぶ。	問題の場面を理解し、倍数の考え方を利用して、箱にジュースがどのように並ぶかを判断することができる。	(1)イ						○	○			87.0	0.2
8		(2)	Bの箱にジュースをどちらの向きに並べても隙間なく詰めることができるわけを、公倍数というこばを使って書く。	問題の場面を理解し、箱にジュースを隙間なく詰めることができる理由を、公倍数という言葉を使って説明することができる。	(1)イ				○				○		49.5	7.9
9		(3)	ジュースのどの辺を高さにしても、同じ向きに隙間なく詰めることができる立方体の箱の1辺の長さを選ぶ。	問題の場面を理解し、3つの数の最小公倍数をもとに、立方体の箱の1辺の長さを判断することができる。	(1)イ						○	○			53.8	1.1
10	7		9.8×7 を分配法則を用いて計算したときの式にあてはまる数を書く。	小数の乗法において、分配法則を利用した計算方法を理解している。	(3)ウ						○	○			62.4	1.9
11	8	式	1mの重さが7.2kgの鉄のパイプ4.5mの重さを求める式を書く。	1つ分の大きさがわかっているときに、そのいくつかを求めるための乗法の立式ができる。	(3)ア						○		○		81.9	1.0
12		答え	1mの重さが7.2kgの鉄のパイプ4.5mの重さを求める。	小数の乗法の計算ができる。	(3)イ							○		○		65.6
13	9	(1)	0.4dLで0.5m ² ぬれるペンキ1dLでぬれる面積を□m ² として表した図を選ぶ。	場面と図とを関連づけて、2つの数量の関係を理解している。	(3)ア			(1)ア			○	○			73.7	0.2
14		(2)	0.4dLで0.5m ² ぬれるペンキ1dLでぬれる面積を求める式を選ぶ。	1に当たる大きさを求めるために、除法が用いられることを理解している。	(3)ア			(1)ア				○	○			41.7
15	10		$3.6 \div 2.5$ の式で答えが求められる問題を選ぶ。	小数の除法の意味について理解している。	(3)ア						○	○			57.8	0.4
16	11		かんたさんの学校の5年生の先週欠席した人数の表から、1日に欠席した人数の平均を求めたものを選ぶ。	平均の意味を理解し、測定値の平均を求めることができる。	(3)ア						○	○			87.9	0.4
17	12		グループごとのシートの面積とグループの人数の表から、どのグループが一番混んでいるのかを選ぶ。	単位量当たりの大きさをを用いて比べることができる。	(4)ア						○	○			56.3	0.5
18	13		立方体の展開図から、面⑥に垂直な面をすべて選ぶ。	立方体の展開図から面と面の位置関係について理解している。				4(2)ア、イ			○	○			62.0	0.7
19	14		合同な図形をかくことができる三角形をすべて選ぶ。	合同な三角形をかくために必要な条件を理解している。				(1)イ			○	○			39.9	2.1
20	15	(1)	まおさんの説明をもとにして、バナナケーキを作るときに必要な小のバナナの本数の求め方を式やこばを使って書く。	問題の場面を理解し、バナナ1本当たりの重さを考えて、必要なバナナの本数を求める方法を説明できる。	(4)ア				○			○			77.4	5.8
21		(2)	ケーキ1個分のバターが、ケーキ1個分のホットケーキミックスの金額の何倍かを選ぶ。	問題で示された情報から、ケーキ1個当たりにかかるホットケーキミックスとバターの金額を比べて、バターの金額がホットケーキミックスの何倍かを求めることができる。	(4)ア				○			○			44.9	2.0



成果・改善が見られる問題

<p>第4学年 ■問題番号 9 (1) ■問題の内容 スケッチブックの値段が270円、ノートの値段が90円するとき、スケッチブックの値段をノートの値段の口倍としたときの正しい図を選ぶ。 ■出題のねらい 場面と図とを関連付けて、二つの数量の関係を理解している。</p>	<p>正答率 84.4%</p>	<p>第5学年 ■問題番号 9 (1) ■問題の内容 0.4 dLで0.5㎡ぬれるペンキ 1 dLでぬれる面積を口㎡として表した図を選ぶ。 ■出題のねらい 場面と図とを関連付けて、二つの数量の関係を理解している。</p>	<p>正答率 73.7%</p>
---	------------------	--	------------------



数学的な表現方法を用いた学習活動の充実

○分析・考察

場面と図とを関連づけて、二つの数量の関係を理解することについては、改善傾向が見られる。このことから、日々の授業において、図や数直線等を用いて二つの数量の関係を正しく捉える学習活動が行われるようになってきていると考えられる。

○学習指導に当たって

「問題場面における数量の関係を理解する」、「数量の関係を図や数直線などに表す」、「図や数直線などを基に立式したり計算の意味を確認したりする」といった一連の活動を繰り返し設定することが大切である。このような活動を通して、計算の意味の理解を基に演算決定ができるようにすることが必要であり、二つの数量の関係を図や数直線等に表すことが形式的にならないよう、実感を伴った学習活動を展開していくことが大切である。



課題が見られる問題

<p>第4学年 ■問題番号 7 (2) ■問題の内容 図書館の利用者数が減ると、本の貸出冊数が減るといことが間違っているわけを書く。 ■出題のねらい 折れ線グラフと棒グラフを読み取り、それを根拠に、示された事柄が正しくない理由を説明することができる。</p>	<p>正答率 19.6%</p>	<p>第5学年 ■問題番号 2 ■問題の内容 ●が0でない数のとき、計算の答え▲と●の大きさの関係を選び、そのわけを書く。 ■出題のねらい 小数の乗法において、乗数が1より小さいとき、積が被乗数より小さくなることを理解している。</p>	<p>正答率 28.8%</p>
---	------------------	--	------------------



数学的活動の充実

○分析・考察

第4学年の結果から、折れ線グラフと棒グラフから読み取れる特徴や傾向を関連付けて判断することができていないこと、問題解決の過程において、グラフ全体の特徴や傾向を捉えるとともに、どの部分に着目することが必要なのかを捉えて考察することができていないことが考えられる。また、両学年の結果から、なぜそのように考えたのか、導いた答えや結論が正しいのか、理由を説明したり、批判的に考察したりする力が弱いことが窺える。

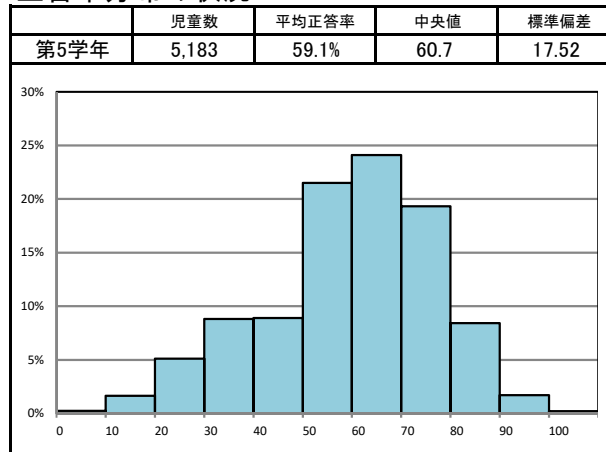
○学習指導に当たって

目的に応じて計画を立て、必要なデータを収集して処理し、そのデータの傾向を読み取って、批判的に考察し判断することを通して、統計的に問題解決する活動を充実させていくことが大切である。また、思考した過程や結果、判断の根拠などを的確に表現したり、考えたことや工夫したことなどを数学的な表現を用いて伝え合う活動を積極的に取り入れていくことが必要である。

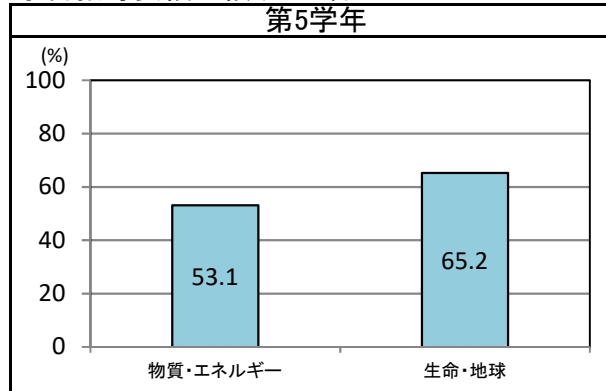
(3) 小学校理科

【分類・区分別の状況】

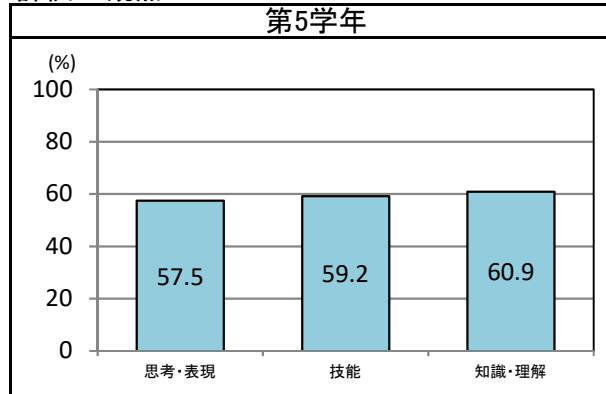
正答率分布の状況



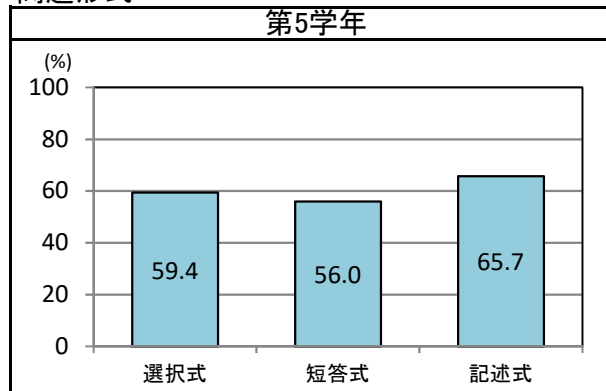
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



令和元年度高知県学力定着状況調査 設問別正答率【小学校5学年理科】

問題番号	大問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式			高知県	
					エネルギー	粒子	生命	地球	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	知識・理解	自然事象についての	選択式	短答式	記述式	正答率(%)
1	1	(1)	アルミニウムの空き缶が磁石に引きつけられない理由を選ぶ。	アルミニウムは磁石に引きつけられないことを理解している。	3 (4)ア					○	○				76.9	0.1
2		(2)	時計皿にのせた棒磁石が止まる向きを選ぶ。	自由に動ける状態の磁石には、N極が北、S極が南をさして止まる性質があることを理解している。	3 (4)イ					○		○			36.9	0.6
3		(3)	実験の結果から推測できる磁石の極を選ぶ。	磁石を近づけたときのおもちゃの動きから、磁石の極を判断することができる。	3 (4)イ				○		○				57.1	0.5
4	2	(1)	物を細かくしていったときの重さを選ぶ。	物の形を変えても重さは変わらないことを理解している。	3 (1)ア					○	○				85.1	0.1
5		(2)	同体積の質量と同質量の体積の関係を選ぶ。	表を読み取り、同体積でも物によって重さは違うことを理解し、同じ重さにしたときの体積の大小関係を捉えることができる。	3 (1)イ				○		○				34.9	0.2
6		(3)	物ののせ方が違っていても重さは変わらないことを説明する。	のせ方が違っていても重さは変わらないことを説明することができる。	3 (1)ア				○				○		70.3	4.2
7	3	(1)	水を冷やしたときとあたためたときの体積変化のようすを選ぶ。	温度による水の体積の変化を理解している。	4 (2)ア					○	○				74.1	0.2
8		(2)	石けん水の膜をつけた試験管を横に向けたり下に向けたりにぎったときの膜のようすを選ぶ。	試験管の向きを変えたときの、石けん水の膜の変化のようすを推測することができる。	4 (2)ア				○		○				38.8	0.3
9		(3)	鉄道のレールのようなすについて説明した文に当てはまる言葉を書く。	夏と冬で、金属でできた鉄道のレールのようなすにちがいが見られる理由を説明できる。	4 (2)ア				○			○			42.8	1.9
10	4	(1)	グラフを読み取り、水が全て氷になったときの時間を選ぶ。	グラフを分析し、水の状態変化について正しく読み取ることができる。	4 (2)ウ				○		○				44.2	0.2
11		(2)	水の状態について当てはまるすがたを書く。	固体について理解している。	4 (2)ウ					○		○			71.0	3.1
12		(3)	氷になったときの体積のようすを選ぶ。	水が氷になったときの体積の変化について理解している。	4 (2)ウ					○	○				41.4	0.4
13	5	(1)	ポットの中の水を熱したときのようすから、水蒸気の状態として正しいものを選ぶ。	水蒸気の状態を理解している。	4 (2)ウ					○	○				12.9	0.3
14		(2)	ろうを塗った金属の棒と板で、ろうが最初にとけるところをそれぞれ選ぶ。	金属の棒や板の熱における伝わり方を指摘することができる。	4 (2)イ				○		○				57.0	1.1
15	6	(1)	雲画像から天気予報の都市を選ぶ。	雲画像から天気の変化を読み取ることができる。				(4)ア	○		○				43.5	0.3
16		(2)	積乱雲の説明として正しいものを選ぶ。	積乱雲について理解している。				(4)ア		○	○				85.1	0.3
17		(3)	天気が晴れとなる雲の量を選ぶ。	天気の決め方について正しく理解している。				(4)ア			○	○			61.8	0.4
18		(4)	夕焼けについての会話に当てはまる言葉の組み合わせを選ぶ。	天気はおよそ西から東へ変化していくことを理解し、夕焼けの翌日の天気と関連付けることができる。				(4)ア・イ		○	○				39.1	0.8
19	7	(1)	流れる水が土などを積もらせるはたらきを何というか書く。	流れる水のはたらきである堆積について理解している。				(3)ア		○		○			66.0	3.7
20		(2)	流れる水の量を増やしたときの水のはたらきの変わり方を選ぶ。	流す水の量と、水のはたらきを関連付けて説明することができる。				(3)ウ	○			○			71.1	0.8
21		(3)	ブロックの置き場所とはたらきを選ぶ。	流れる水を弱めるブロックの置き方を指摘することができる。				(3)ウ	○			○			72.9	0.8
22	8	(1)	日光を当てずに育てたインゲンマメのなえのようすを選ぶ。	植物の成長に必要な条件を調べる実験において、日光を当てずに育てたインゲンマメのなえのようすを指摘できる。				(1)ウ	○			○			67.4	0.8
23		(2)	確かめたいことを調べるために、変える条件と同じにする条件をそれぞれ書く。	植物の成長に肥料が必要かどうかを調べる実験方法を計画することができる。				(1)ウ		○			○		62.1	3.8
24	9	(1)	顕微鏡の持ち方と使う場所についての正しい説明を選ぶ。	顕微鏡の持ち方と置く場所がわかり、正しく使用することができる。				(1)エ		○		○			78.3	1.0
25		(2)	顕微鏡を使う手順のうち、誤った操作を選ぶ。	顕微鏡を正しい手順で操作することができる。				(1)エ		○		○			37.1	1.5
26	10	(1)	実ができるために受粉が必要かどうかを確かめる実験で、雌花のつぼみに袋をかぶせておく理由を選ぶ。	花が実になるための受粉の実験において、条件を制御した実験計画を立てることができる。				(1)エ	○			○			86.0	1.5
27		(2)	実ができるために受粉が必要かどうかを確かめる実験で、得られる結果を選ぶ。	受粉すると花が実になることを理解している。				(1)エ			○	○			80.7	1.8
28		(3)	イチゴの温室栽培の温室にいるミツバチは、受粉の手助けをしていることを説明する。	イチゴの温室栽培で、温室にミツバチを放している理由を、植物の受粉と関連付けて説明することができる。				(1)エ	○				○		61.2	5.9



成果・改善が見られる問題

第5学年

■問題番号 10 (1)

■問題の内容

実ができるために受粉が必要かどうかを確かめる実験で、雌花のつぼみに袋をかぶせておく理由を選ぶ。

■出題のねらい

花が実になるための受粉の実験において、条件を制御した実験計画を立てることができる。

正答率 86.0%

ポイント

自らの予想や仮説を基に実験を構想する指導の充実

○分析・考察

平成30年度全国学力・学習状況調査で課題とされていた「結果を見通して実験を構想すること」に、一定の改善が見られる。このことから、日々の授業において、作業的に実験を行うのではなく、問題を解決するためにはどのような実験を行ったらいのかを構想する場面を設定し、目的意識をもって実験が行われていると考えられる。

○学習指導に当たって

観察や実験を構想する際に、「条件を制御する」という考え方を働かせることが大切である。問題を解決するために、まずは児童が、予想や仮説を基に複数の要因を見つけ出す活動を行うことが必要である（例えば、問題番号10の実際の授業場面では、「実ができるためには受粉させる必要があるだろう」という予想の基に、受粉させる花と受粉させない花を用いる等）。そして、何を制御すればよいか等の解決方法を発想して、観察や実験を行っていくことが大切である。その際、変える条件と変えない条件を表に整理して観察や実験を計画する等の学習活動も考えられる。



課題が見られる問題

第5学年

■問題番号 5 (1)

■問題の内容

ポットの中の水を熱したときのようすから、水蒸気の状態として正しいものを選ぶ。

■出題のねらい

水蒸気の状態を理解している。

正答率 12.9%

第5学年

■問題番号 6 (4)

■問題の内容

夕焼けについての会話に当てはまる言葉の組み合わせを選ぶ。

■出題のねらい

天気はおよそ西から東へ変化していくことを理解し、夕焼けの翌日の天気と関連付けることができる。

正答率 39.1%

ポイント

見方・考え方を働かせた児童の姿を意識した指導の充実

○分析・考察 [大問5 (1)]

水は、温度によって状態が変化する性質であることを理解する点において、依然課題が残っている。児童が、目に見えている湯気を水蒸気、沸騰している水の中から出てくる泡を空気と、それぞれ誤認識していると思われる。これは、質的・実体的な視点で捉え、それがどのような性質なのか思考したり、水の状態と温度変化を関係付けたりする学習活動が十分ではないことが考えられる。

○学習指導に当たって

内容の系統性を重視し、見方・考え方を働かせている児童の姿を意識した指導が大切である。例えば問題番号5では、目に見える湯気（水滴）に対して、水蒸気は「見えないが存在しているのか」という見方をしたり、水の状態と温度変化を関係付けたりして話し合う活動を充実させる必要がある。また設問番号6では、時間的・空間的な視点を働かせながら太陽の位置と天気の変化を関係付けることが大切である。

このほか、児童の誤認識を用いた問いを設定し、予想や仮説に基づいて実験を行い、検討改善していくことも効果的である。

○分析・考察 [大問6 (4)]

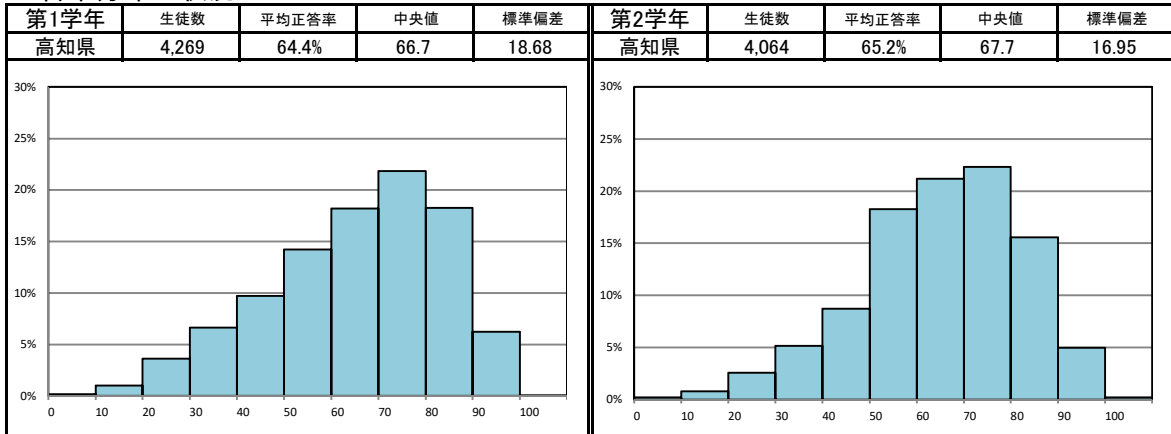
夕方には太陽が西の空にあることや、天気はおよそ西から東に変化していくことが定着していない。

これは第3学年で学習している「太陽と地面の様子」と第5学年の「天気の変化」を関連付けたり、時間的・空間的な視点で捉えさせる学習活動が十分ではないことが考えられる。

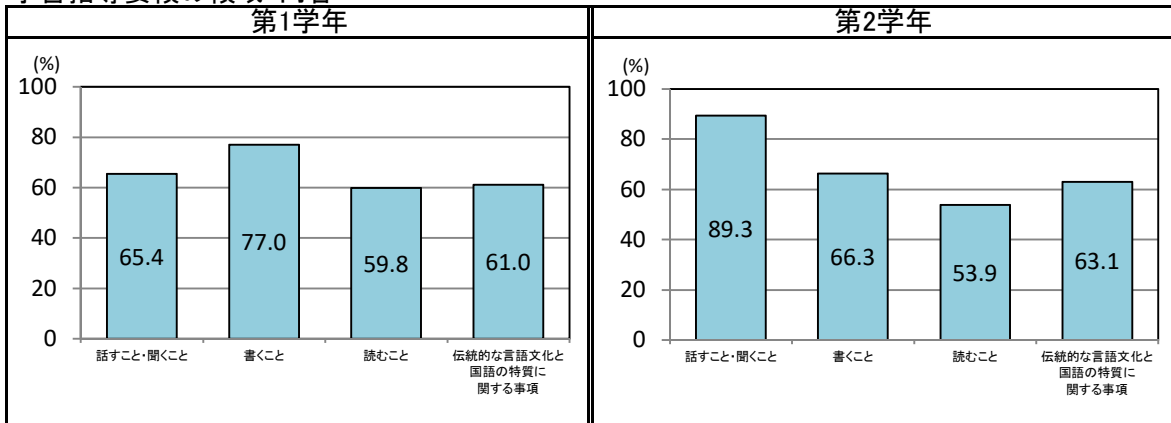
(4) 中学校国語

【分類・区別の状況】

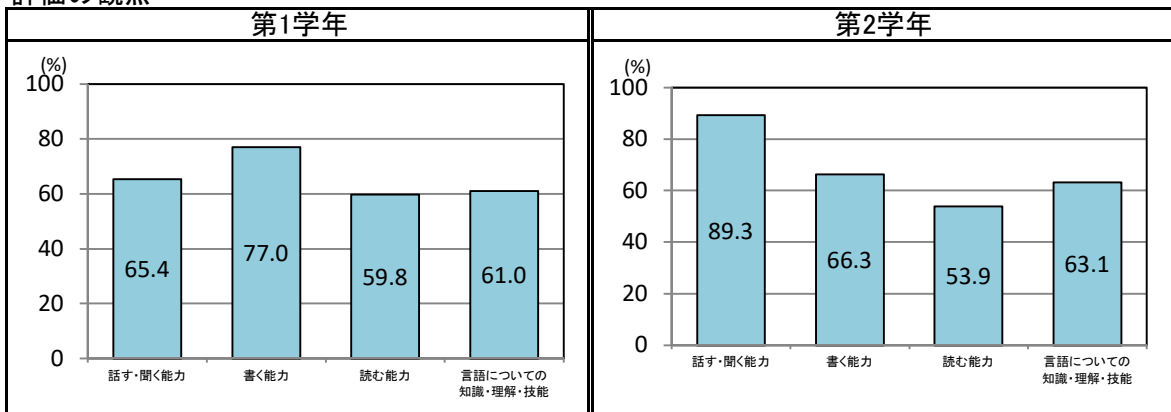
正答率分布の状況



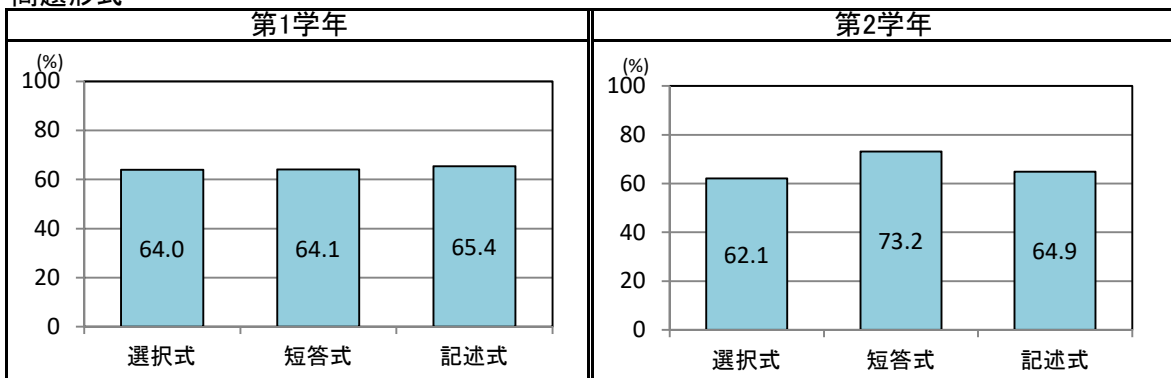
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



令和元年度高知県学力定着状況調査 設問別正答率【中学校第1学年国語】

通し番号	大問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			高知県	
					話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	語の伝統的な言語に関する文化と事項	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語理解・技能についての知識・	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)
1	1	(1)	青木さんと中村さんの考えの共通点として適切なものを選ぶ。	話の内容を正確に聞き取り、共通点を捉える。	エ				○			○			88.2	0.2	
2		(2)	青木さんの話し方の工夫にあてはまるものを選ぶ。	相手に理解してもらうための話し方の工夫を聞き取る。	イ				○			○			87.6	0.3	
3		(3)	司会者が行っていた話し合いの進め方の工夫として適切なものを選ぶ。	話し合いの目的に沿って司会の役割を果たす。	オ				○			○			87.0	0.4	
4		(4)	中村さんの話の仕方の長所として、あてはまる言葉を書く。	相手に分かりやすく伝えるための話し方の工夫を聞き取る。	イ				○				○		33.2	13.4	
5	2	①	漢字を読む。 (かぜで食欲不振が続いている。)	文脈に即して漢字を正しく読む。				(1)ウ(ア)			○		○		66.3	4.5	
6		②	漢字を読む。 (めいわくをかけて恐縮する。)	文脈に即して漢字を正しく読む。				(1)ウ(ア)			○		○		82.6	3.6	
7		③	漢字を読む。 (水面に泡が立つ。)	文脈に即して漢字を正しく読む。				(1)ウ(ア)			○		○		99.5	0.3	
8		①	漢字を書く。 (解決策をケントウする。)	文脈に即して漢字を正しく書く。				(1)ウ(イ)			○		○		23.4	33.4	
9		②	漢字を書く。 (赤信号でテイシする。)	文脈に即して漢字を正しく書く。				(1)ウ(イ)			○		○		49.3	12.9	
10		③	漢字を書く。 (チームは一回戦でヤブレた。)	文脈に即して漢字を正しく書く。				(1)ウ(イ)			○		○		58.1	8.9	
11	3	(1)	文を文節で区切り、文頭から四番目の文節を抜き出す。	文節について理解する。				(1)イ(エ)			○		○		85.5	1.1	
12		(2)	文を単語で区切り、文頭から五番目の単語を抜き出す。	単語の類別について理解する。				(1)イ(エ)			○		○		61.3	1.2	
13		(3)	歴史的仮名遣い「やしなひ」を現代仮名遣いに直す。	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む。				(1)ア(ア)			○		○		63.6	7.7	
14		(4)	「せいては事を仕損じる」と比較しながら、「先んずれば人を制す」の意味を選ぶ。	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う。				(1)イ(ウ)			○		○		20.7	0.6	
15	4	(1)	文章中の図を理解して、図が補足する文章の内容を選ぶ。	文章の内容を捉えて、その内容を補足するための図と結び付ける。			イ			○		○		70.6	0.5		
16		(2)	抜けている段落が入る適切な位置を選ぶ。	文章の構成や展開を捉える。			イ			○		○		47.2	0.9		
17		(3)	現代と古代の違いについて、文章で説明されていることをまとめた表にあてはまる言葉を選び出す。	文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える。			イ			○		○		51.7	14.7		
18		(4)	文章で述べられている内容と一致するものを選ぶ。	文章の展開に即して要旨を捉える。			イ			○		○		63.5	1.2		
19	5	(1)	湊が海人について考えたこととして適切なものを選ぶ。	登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する。			ウ			○		○		73.7	0.7		
20		(2)	文章にあてはまる心情を表す言葉の組み合わせとして適切なものを選ぶ。	登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する。			ウ			○		○		54.9	0.7		
21		(3)	文章に関する話し合いにあてはまる言葉として適切なものを選ぶ。	登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する。			ウ			○		○		64.9	1.0		
22		(4)	文章の表現の特徴についての説明の組み合わせとして適切なものを選ぶ。	表現の特徴について自分の考えをもつ。			エ			○		○		52.2	1.7		
23	6	(1)	資料の内容を整理して、【話し合いの様子】にあてはまる言葉として適切なものを選ぶ。	話し合いの方向を捉えて、資料の内容を整理する。	ア				○			○		49.5	1.5		
24		(2)	資料をもとにして、【話し合いの様子】にあてはまる言葉を書く。	話し合いで出された課題を捉えて、自分の考えをまとめる。	オ				○				○	39.9	14.7		
25		(3)	【話し合いの様子】における発言の役割として適切なものを選ぶ。	話し合いの方向を捉えて、よりよい話し合いにするための発言を考える。	オ				○			○		72.6	3.3		
26	7		3段落構成で書く。	3段落構成で文章を書く。			イ・ウ			○			○	71.5	12.3		
27			第1段落にAのポスターの特徴を書く。	読み取った内容を明確にして書く。			イ・ウ			○			○	83.0	12.3		
28			第2段落にBのポスターの特徴を書く。	読み取った内容を明確にして書く。			イ・ウ			○			○	74.6	12.3		
29			第3段落にAとBのポスターのうち、どちらが効果的だと思うか、自分の考えを書く。	自分の考えを根拠を明確にして書く。			イ・ウ			○			○	79.3	12.3		
30			8行から10行(141字から200字)の間で書く。	指定された文字数で書く。			イ・ウ			○			○	76.6	12.3		

令和元年度高知県学力定着状況調査 設問別正答率【中学校第2学年国語】

通し番号	大問	小問	問題の内容	出題のねらい	字音指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			高知県		
					話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	語伝の統一的な言語文化と事項	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	
1	1	(1)	今井さんの意見の述べ方にあてはまるものを選ぶ。	論理的な構成を工夫して話す。	イ				○			○				93.5	0.2	
2		(2)	坂本さんが述べた意見にあてはまるものとして適切なものを選ぶ。	話の論理的な構成や展開に注意して聞く。	エ				○			○				84.3	0.3	
3		(3)	司会者が行っていた話し合いの進め方の工夫として適切なものを選ぶ。	話し合いの目的に沿って司会の役割を果たす。	オ				○			○				90.0	0.3	
4		(4)	今井さん、坂本さんに続いて出された意見を書く。	話し合いで出された意見の共通点を捉えようとして、自分の意見を述べる。	エ				○				○			89.2	3.1	
5	2	①	漢字を読む。 (動物を撮影する。)	文脈に即して漢字を正しく読む。				(1)ウ(ア)			○	○				98.8	0.3	
6		(1)②	漢字を読む。 (銭湯に通う。)	文脈に即して漢字を正しく読む。				(1)ウ(ア)			○	○				91.6	1.7	
7		③	漢字を読む。 (卵が傷む。)	文脈に即して漢字を正しく読む。				(1)ウ(ア)			○	○				95.4	1.1	
8		(2)	①	漢字を書く。 (将来に備えてチョコキンする。)	文脈に即して漢字を正しく書く。				(1)ウ(イ)			○	○				51.3	8.8
9			②	漢字を書く。 (友達を家にシヨウタイする。)	文脈に即して漢字を正しく書く。				(1)ウ(イ)			○	○				49.7	14.2
10			③	漢字を書く。 (荷物をアズける。)	文脈に即して漢字を正しく書く。				(1)ウ(イ)			○	○				39.1	18.4
11	3	(1)	傍線で示された文節の関係と同じ関係が示されている文を選ぶ。	文の成分の照応について理解する。				(1)イ(ウ)			○	○				20.5	0.2	
12		(2)	三つの単語に共通してあてはまるままとりとして適切なものを選ぶ。	自立語について理解する。				1(1)イ(エ)			○	○				50.8	0.5	
13		(3)	「蛇足」の意味を正しく捉えて使っている発言者を選ぶ。	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う。				(1)イ(イ)			○	○				62.1	0.3	
14		(4)	三つの漢字に共通してあてはまる部首を選ぶ。	漢字の部首について理解する。				(1)ウ(ア)			○	○				54.7	0.5	
15		(5)	行書の特徴の組み合わせとして適切なものを選ぶ。	行書の特徴について理解する。				(2)ア			○	○				60.2	0.8	
16	4	(1)	文章の中にあてはまる接続詞の組み合わせとして適切なものを選ぶ。	接続詞の働きについて理解する。				1(1)イ(エ)			○	○				82.8	0.2	
17		(2)	指示語の内容を捉えようとして、文章の内容として適切なものを選ぶ。	文章の展開に即して内容を捉える。			イ			○	○					45.2	0.3	
18		(3)	筆者の考えをまとめた図として適切なものを選ぶ。	筆者の考えについて整理し、知識や体験と関連付けて自分の考えをもつ。			エ			○	○					46.8	0.8	
19		(4)	段落の役割の説明として適切ではないものを選ぶ。	段落が文章全体の中で果たす役割を捉える。			イ			○	○					31.0	1.2	
20	5	(1)	晴希の気持ちの変化についての説明として適切なものを選ぶ。	登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する。			イ			○	○					69.7	0.6	
21		(2)	晴希が理解した、一馬の様子の変化についての説明として適切なものを選ぶ。	描写の効果を考え、内容を理解する。			イ			○	○					75.1	0.6	
22		(3)	晴希と一馬の関係について説明した文章に入れる言葉として、適切な組み合わせを選ぶ。	描写の効果や登場人物の言動の意味などを考え、内容を理解する。			イ			○	○					59.2	0.7	
23		(4)	文章の表現の特徴についての説明として適切なものを選ぶ。	文章の表現の特徴を捉える。			ウ			○	○					50.6	0.9	
24	6	(1)	【資料の下書き】と書き直した文章を比較し、書き直した意図として適切なものを選ぶ。	伝えたい事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように書く。			ウ			○		○				79.0	0.8	
25		(2)	【資料の下書き】の中に入れるアンケート結果の分析とグラフを結び付ける。	目的や意図に応じて材料を集め、自分の考えをまとめる。			ア			○		○				86.3	1.8	
26		(3)	アンケート結果の＜現在の傾向＞を踏まえ、二つの課題を書く。	考えの根拠となる事実や事柄を捉え、具体的に記述する。			ウ			○		○				44.4	10.5	
27	7		3段落構成で書く。	3段落構成で文章を書く。			イ・ウ			○		○				68.5	14.3	
28			第1段落に「やばい」という言葉を上の世代の人に使うことについて、自分の考えを書く。	自分の考えを明確にして書く。			イ・ウ			○		○				71.2	14.3	
29			第2段落にグラフの数値を根拠として具体的に挙げながら、自分の考えの理由を書く。	読み取った内容を根拠にして理由を書く。			イ・ウ			○		○				44.5	14.3	
30			第3段落に自分自身の言葉遣いについて、これから気をつけたいと思うことを書く。	自分の考えを明確にして書く。			イ・ウ			○		○				66.1	14.3	
31			9行から11行(161字から220字)の間で書く。	指定された文字数で書く。			イ・ウ			○		○				70.3	14.3	



成果・改善が見られる問題

<p>第1学年 ■問題番号 1 (2) ■問題の内容 「大掃除の分担の方法」について話し合っている様子から、話し方の工夫を聞き取り、適切なものを選択する。 ■出題のねらい 相手に理解してもらおうための話し方の工夫を聞き取る。</p>	<p>第2学年 ■問題番号 1 (1) ■問題の内容 「春休みの過ごし方」というテーマについて話し合っている様子から、意見の述べ方として適切なものを選択する。 ■出題のねらい 論理的な構成を工夫して話す。</p>
正答率 87.6%	正答率 93.5%



対話や討論等の言語活動の充実

○分析・考察

「話すこと・聞くこと」の領域において、話の構成に注意し相手の反応を確かめながら話すことについて改善が見られる。また、論理的な構成や展開を考えて話すことについては、引き続き良好な傾向が見られる。このことにより、相手に分かりやすく伝えるということを意識しながら、「事実と意見」の関係に着目して話の構成を考える指導がなされていると考える。

○学習指導に当たって

話の工夫は、根拠の取り上げ方や話す順序に表れるということを理解した上で、対話や討論等の言語活動を行い、意見に対する適切な根拠を選択できているかという検討や、論理的な構成に沿って話すことを指導することが大切である。

例えば、小学校での学習を踏まえ、話の内容が明確になるように構成を考えることを確認した上で、集めた材料や具体的な事実、自分の意見をどのように配列するかを考えたのち、視点（伝える相手や目的等）に基づいて、その配列の効果を検討する活動が考えられる。また、論理的な構成を考える際には、理由に対する根拠の適切さを判断し、接続する語句や文末表現に注意して、自分の考えを明確にすることができるよう指導することも重要である。

そのほか、ICTを活用し、自分や他者の話し方を客観的に捉え、評価する場を取り入れることも効果的である。



課題が見られる問題

<p>第1学年 ■問題番号 6 (2) ■問題の内容 文化発表会に向けて、複数の資料を基に話し合いをする様子を表した文章を読み、空白で示された発言部分について、話し合いの内容を捉えて適切な言葉を書く。 ■出題のねらい 話し合いで出された課題を捉えて、自分の考えをまとめる。</p>	<p>第2学年 ■問題番号 7 ■問題の内容 言葉の意味について、若年者と高齢者の受け止め方が異なる結果を表したグラフを見て、自分の考えを書く。（構成数等、示された条件を満たすように書く。） ■出題のねらい 読み取った内容を根拠にして理由を書く。（3番目に示す条件項目）</p>
正答率 39.9%	正答率 44.5%



情報の扱い方に関する指導の改善・充実

○分析・考察

話し合いで出された課題を正確に捉え、資料内の項目に着目することはできているが、項目の結果（数量の傾向）を活用して、自分の考えをまとめることに課題が見られる。要因として、資料を活用する目的が明確になっておらず、自分の考えの根拠として資料を用いることが十分にできていないものと考えられる。

○分析・考察

グラフを見て自分の考えを持ち、考えの理由の根拠として、グラフの数値を挙げて具体的に書くことに課題が見られる。要因として、グラフ内のどの情報に着目すればよいか分からず、自分の意見と情報を一致させることができていないと考えられる。また、一致させることができていても、グラフ内の情報を用いて、相手に分かりやすく書くことに課題があると考えられる。

○学習指導に当たって

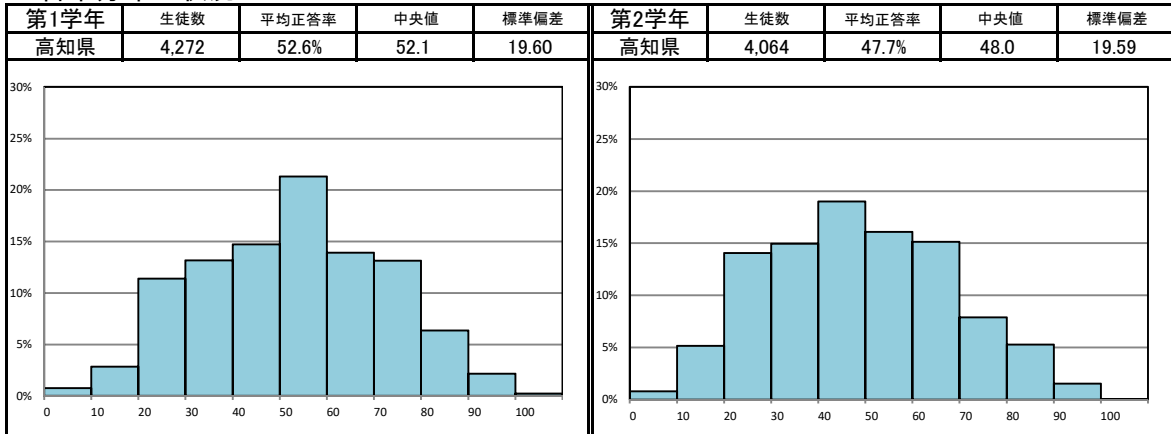
図表等を用いた説明や記録の文章を書く言語活動を通して、効果的な図表の用い方について考えさせる学習活動が重要である。その際、自分の考えや伝えたい内容を明確にした上で、図表から必要な情報を根拠として取り出すように指導することが必要である。また、自分の考えや伝えたい内容と情報の照応関係を検討し、構成及び表現を工夫して書くことができるように指導することが大切である。

そのほか、比較や分類、関係付け等の情報の整理の仕方について指導し、話し合いの構成を捉える際に、話の中心的部分と付加的な部分を明確にするために活用したり、図表等が表す内容を精査・解釈する際に活用したりする学習活動を取り入れることも効果的である。

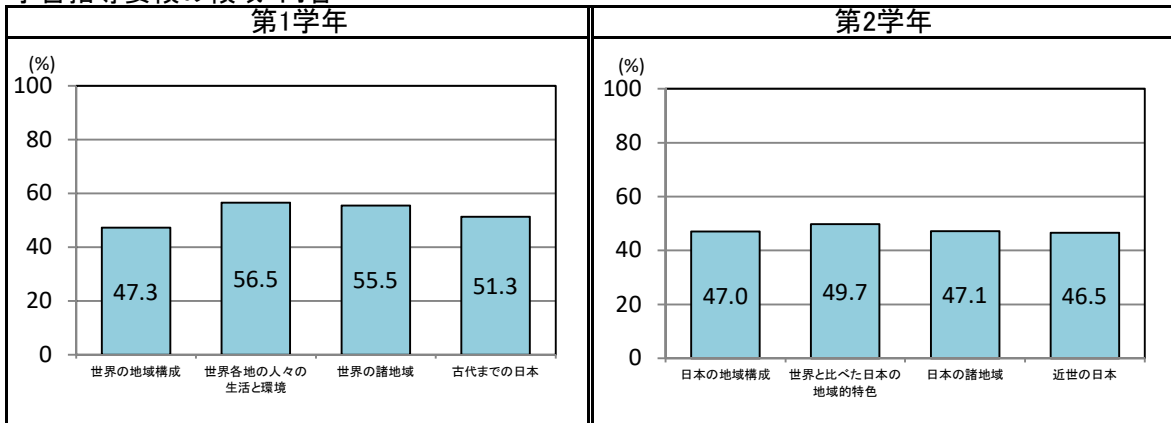
(5) 中学校社会

【分類・区別の状況】

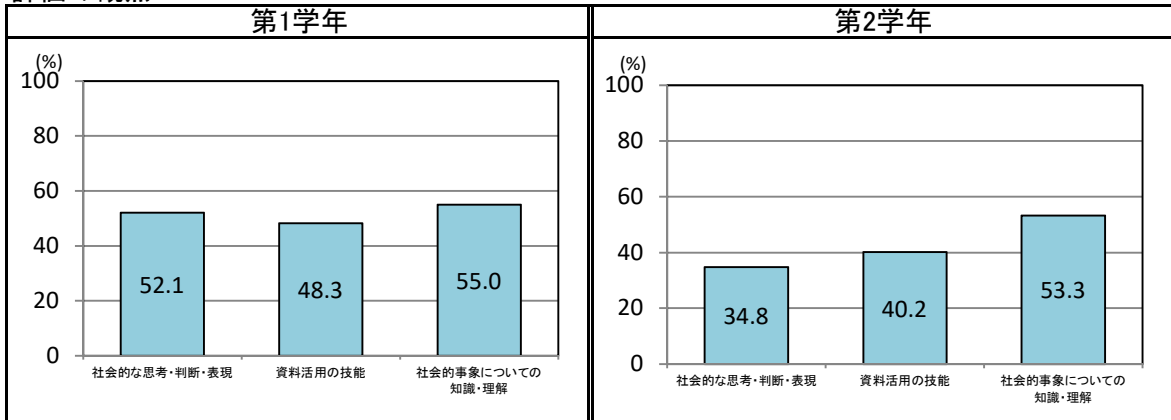
正答率分布の状況



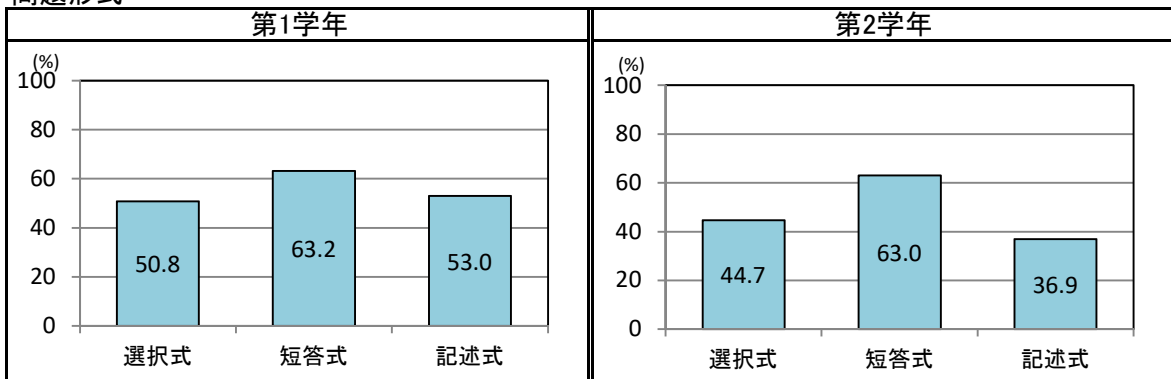
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



令和元年度 高知県学力定着状況調査 設問別正答率【中学校第1学年社会】

問題番号			問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点		問題形式		高知県			
通し番号	大問	小問			世界の地域構成	と世界環境と世界各地の人々の生活	世界の諸地域	古代までの日本	現社会的な思考・判断・表現	資料活用・技能	社会的解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)
1	1	(1)	地図中に示した経線(本初子午線)の名称を選ぶ。	本初子午線の意味を理解している。	(1)ア					○	○			61.1	0.1	
2		(2)	中心からの距離と方位が正しい地図について、読み取れることとして適切なものを選ぶ。	中心からの距離と方位が正しい地図の特色を読み取ることができる。	(1)ア				○	○				40.8	0.4	
3		(3)	資料を基に、世界で最も面積の小さい国の位置を地図中から選ぶ。	世界地図を基に、世界で最も面積の小さい国の位置を理解している。	(1)ア					○	○				55.2	0.2
4		(4)	中心からの距離と方位が正しい地図を基に、地点間の最短距離を示すものとして適切なものを選ぶ。	中心からの距離と方位が正しい地図と他の地図を関連付けて、情報を地図の特色に留意し、読み取ることができる。	(1)ア				○	○					32.2	0.4
5	2	(1)	気温と降水量のグラフの示す都市が、地図中のどの気候帯に属するかを選ぶ。	気温と降水量のグラフを基に、世界各地の気候の特色とその分布について、読み取ることができる。	(1)イ				○	○				44.9	0.5	
6		(2)	世界各地の標高と緯度を示した資料を基に、気候に影響を与える条件について説明する。	資料から、気候に影響を与える条件について考察し、説明することができる。	(1)イ			○				○		72.7	11.6	
7		(3)	草や水を求めて移動しながら家畜を飼育する牧畜の形態の名称を書く。	遊牧について理解している。	(1)イ					○	○				63.2	6.2
8		(4)	地図中のYの地域で多く見られる住居として適切なものを選ぶ。	気候の特色と関連付けて、住居の工夫について理解している。	(1)イ					○	○				45.2	0.4
9	3	(1)	タイとマレーシアの主な国の輸出品上位の組み合わせとして適切なものを選ぶ。	東南アジアの経済発展について、主な国の輸出品の変化を基に理解している。	(1)ウ(ア)					○	○				57.2	0.3
10		(2)	ある鉱産資源の国際価格や生産量の変化に大きな影響を与えてきた組織の略称を選ぶ。	石油輸出機構(OPEC)について理解している。	(1)ウ(ア)					○	○				43.3	0.4
11		(3)	地図中に示したヨーロッパ州の地域でさかんな農業の特徴として適切なものを選ぶ。	ヨーロッパ州の農業における特色とその分布について理解している。	(1)ウ(イ)					○	○				58.8	0.7
12		(4)	ヨーロッパ州の主な国で使用されている通貨の単位を書く。	EU(ヨーロッパ連合)の通貨について理解している。	(1)ウ(イ)					○	○				71.5	7.2
13		(5)	アフリカ州の4つの国の国内総生産額と輸出品目の資料から読み取れる内容として適切なものを選ぶ。	資料から、アフリカ州の貿易の特色を読み取ることができる。	(1)ウ(ウ)				○	○					50.4	0.8
14	4	(1)	猿人が最初に出現したと考えられている大陸として適切なものを地図中から選ぶ。	人類の出現について理解している。	(2)ア					○	○				74.8	0.4
15		(2)	インダス文明について説明した文として適切なものを選ぶ。	世界の古代文明について理解している。	(2)ア					○	○				33.1	0.4
16		(3)	万里の長城とよばれる長大な城壁を最初に作った王朝として適切なものを選ぶ。	中国の文明、国家のおこりと発展について理解している。	(2)ア					○	○				59.8	0.5
17	5	(1)	十七条の憲法を示した資料から読み取れることとして適切なものを選ぶ。	資料を基に、聖徳太子の政治の特色について、読み取ることができる。	(2)イ				○	○					69.1	0.5
18		(2)	二官八省に関する資料を基に、朝廷で書類に関する仕事を行った役所を選ぶ。	資料を基に、律令国家の確立に至るまでの過程として、国家の仕組みが整えられていることについて読み取ることができる。	(2)イ				○	○					65.6	0.6
19		(3)	平城京に都が移されてから平安京に都が移されるまでの時期にあてはまるべきこととして適切なものを選ぶ。	律令国家の確立に至るまでの過程として、国家の仕組みが整えられていることについて理解している。	(2)イ					○	○				36.6	0.7
20		①	藤原氏が勢力を伸ばし実権をにぎった政治の名称を書く。	摂関政治について理解している。	(2)イ					○	○				54.8	16.2
21		②	平安時代につくられた長編小説の作者と、当時の文化の組み合わせとして適切なものを選ぶ。	資料から代表的な事例に着目し、文化の国風化が進んだことについて読み取ることができる。	(2)ウ				○	○					35.2	0.7
22	6	(1)	複数の資料を基に、遣唐使の経路についての根拠を推測し、説明として適切なものを選ぶ。	遣唐使の派遣について、経路が変更された背景を複数の資料を基に考察することができる。	(2)ウ				○	○					50.3	1.1
23		(2)	遣唐使が派遣されなくなった理由について、資料を基に説明する。	資料を基に、遣唐使が派遣されなくなった背景について考察し、説明することができる。	(2)ウ				○			○			33.4	13.3
24		(3)	複数の資料を基に、中華人民共和国の特色について考察し、説明したものとして適切なものを選ぶ。	アジア州の地域的特色について、複数の資料を基に考察することができる。	(1)ウ(ア)				○		○				52.1	1.1

令和元年度 高知県学力定着状況調査 設問別正答率【中学校第2学年社会】

問題番号			問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点		問題形式			高知県		
通し番号	大問	小問			日本の地域構成	世界的特色	日本の諸地域	近世の日本	現社会的な思考・判断・表現	資料活用・技能	社会的解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)
1	1	(1)	地図を基に、日本の国土全体がおさまる緯度の範囲にある国を選ぶ。	世界地図を基に、日本の国土の位置を捉えることができる。	(2)ア					○	○			28.3	0.2	
2		(2)	日本の領域などを表した模式図に示した海域の名称を書く。	排他的経済水域について理解している。	(2)ア						○	○			65.7	8.8
3	2	(1)	世界と日本の人口の分布と変化について述べた文として適切なものを選ぶ。	世界と日本の人口の分布と変化について理解している。	(2)イ(イ)					○	○			42.8	0.1	
4		(2)	世界の主な国について、発電量が最も多かった発電の種類を示した資料から火力発電にあてはまるものを選ぶ。	資料を基に、世界や日本の資源・エネルギーに関する現状について読み取ることができる。	(2)イ(ウ)					○	○			54.7	0.1	
5		(3)	各都道府県の産業別就業者数について、その組み合わせとして適切なものを選ぶ。	資料を基に、日本の産業に関する特色について読み取ることができる。	(2)イ(ウ)					○	○			35.1	0.5	
6		(4)	貨物の輸送として、航空輸送より海上輸送に適していると考えられるものを選ぶ。	物資の国際間の移動に関する特色について理解している。	(2)イ(エ)						○	○			71.4	0.7
7		(5)	複数の資料を基に、日本列島の断面図の資料を選び、日本の地形の特色について、「造山帯」の語句を使って説明する。	日本の地形の特色について、複数の資料を基に考察し、説明することができる。	(2)イ(ア)					○			○		34.8	1.2
8	3	(1)	気温と降水量のグラフが、地図中のどの都市のものであるか、その組み合わせとして適切なものを選ぶ。	気温と降水量のグラフを基に、日本の自然環境に関する気候の特色とその分布について、読み取ることができる。	(2)イ(ア)					○	○			48.2	0.4	
9		(2)	産地である地図中のX・Yと野菜の県別生産量のグラフの組み合わせとして適切なものを選ぶ。	日本の産業に関する特色について理解している。	(2)イ(ウ)						○	○			43.5	0.5
10		(3)	地図中に示した九州地方北部の地域でかつて大量に産出され工業地域(工業地帯)の発展の要因としてあげられる鉱産資源を選ぶ。	日本の地域を特色付ける産業と歴史的背景について理解している。	(2)ウ(イ)						○	○			28.0	0.5
11		(4)	地図中に示した漁港の沖を流れる暖流の名称を選ぶ。	日本の自然環境に関する特色について理解している。	(2)イ(ア)						○	○			45.7	1.2
12		(5)	地図中に示した本州と四国間に位置している海の名称を書く。	日本の自然環境に関する特色について理解している。	(2)イ(ア)						○	○			71.3	9.1
13		(6)	地図中に示した都道府県庁所在地の説明として適切なものを選ぶ。	日本の地域を特色付ける歴史的背景や開発の歴史について理解している。	(2)ウ(イ)						○	○			66.2	0.4
14	4	(1)	資料に描かれた人物の説明を基に、その人物の名前を書く。	宗教改革によるキリスト教世界の動きについて理解している。	(4)ア						○	○			87.4	2.1
15		①	鉄砲の伝来について、ポルトガル人の乗った船が流れ着いた場所を選ぶ。	ヨーロッパ人の来航とその影響について理解している。	(4)ア						○	○			59.8	0.3
16		②	織田信長について説明した文として適切なものを選ぶ。	織田・豊臣による統一事業について理解している。	(4)ア						○	○			60.2	0.4
17		①	資料に描かれた絵画に関する説明文の空欄にあてはまる豊臣秀吉の役職を選ぶ。	織田・豊臣による統一事業について理解している。	(4)ア						○	○			46.0	0.4
18		②	資料の絵画が描かれた時期に起こった最も近いできごととして適切なものを選ぶ。	資料から武将や豪商の気風や経済力を背景とした文化が生み出されたことを関連付けて考察している。	(4)ア					○		○			37.3	0.7
19	5	①	江戸幕府のしくみについて説明した文中の空欄にあてはまる語句の組み合わせとして適切なものを選ぶ。	江戸幕府の政治の特色について理解している。	(4)イ						○	○			48.2	0.4
20		②	江戸時代に幕府や藩が村の百姓につくらせた組織の名称を書く。	江戸幕府における身分制度の確立及び農村の様子について理解している。	(4)イ						○	○			49.3	15.8
21		(2)	鎖国が行われていたところの様子について説明した文として適切なものを選ぶ。	江戸幕府の鎖国下の対外関係について考察している。	(4)イ					○		○			27.9	0.5
22		(3)	寛政の改革について説明した文として適切なものを選ぶ。	江戸幕府の政治改革について理解している。	(4)エ						○	○			26.8	0.5
23		①	日本古来のものの考え方にに関する学問の名称を書く。	江戸時代に発展した新しい学問・思想の動きについて理解している。	(4)エ						○	○			41.1	15.9
24	②	資料を参考に、化政文化についての説明として適切なものを選ぶ。	資料を基に、町人文化が都市を中心に形成されたことについて捉えることができる。	(4)ウ						○	○			34.7	0.6	
25	(5)	複数の資料を基に、樽海を干拓して新田を開発できた背景について、「鉱山」の語句を使って説明する。	江戸時代の産業の発達について、複数の資料を関連付けて考察し、説明することができる。	(4)ウ					○			○		39.1	16.4	



成果・課題が見られる問題

第1学年

正答率 72.7%

■問題番号 2 (2)

■問題の内容

世界各地の標高と緯度を示した資料を基に、気候に影響を与える条件について説明する。

■出題のねらい

資料から、気候に影響を与える条件について考察し、説明することができる。



課題の解決に向けて情報を読み取る場面の設定

○分析・考察

社会的事象の特色についての考察（気候に影響を与える条件）に必要な情報を読み取ることについて、過去の高知県学力定着状況調査から引き続き、改善の傾向が見られる。このことから、日々の授業において、課題を追究したり解決したりする学習過程の中で、資料を活用して課題の解決につながる情報を読み取る場面を設定した授業が展開されていると考えられる。

○学習指導に当たって

調査や諸資料から、社会的事象に関する様々な情報を収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける学習活動の充実を図ることが大切である。その際、複数の資料から情報（地図上で捉えた位置や地形条件等）を読み取り、社会的事象の特色を捉えることにつなげていくことが重要である。学習課題の解決につながるよう、資料から事実を正確に読み取ること、目的に応じた情報を選んで読み取ること、異なる情報を見比べたり結び付けたりして読み取ることなどの場面を設定し、適切な情報活用を促す学習活動を展開することが必要である。



課題が見られる問題

第1学年

正答率 33.4%

■問題番号 6 (2)

■問題の内容

遣唐使が派遣されなくなった理由について、資料を基に説明する。

■出題のねらい

資料を基に、遣唐使が派遣されなくなった背景について考察し、説明することができる。

第2学年

正答率 34.8%

■問題番号 2 (5)

■問題の内容

複数の資料を基に、日本列島の断面図の資料を選び、日本の地形の特色について、「造山帯」の語句を使って説明する。

■出題のねらい

日本の地形の特色について、複数の資料を基に考察し、説明することができる。



課題を追究したり解決したりする学習活動の充実

○分析・考察

各学年の正答率等から、「遣唐使が派遣されなくなった理由」や「日本の地形の特色」について、資料を基に背景や影響を捉えたり、複数の資料を関連付けたりして考察し、説明することに弱さが見られる。これらのことから、課題を追究したり解決したりする学習過程において、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連について、様々な資料を活用して、考察したり判断したことを論理的に説明したり、立場や根拠を明確にして議論したりするなどの言語活動を充実させる必要があると考えられる。

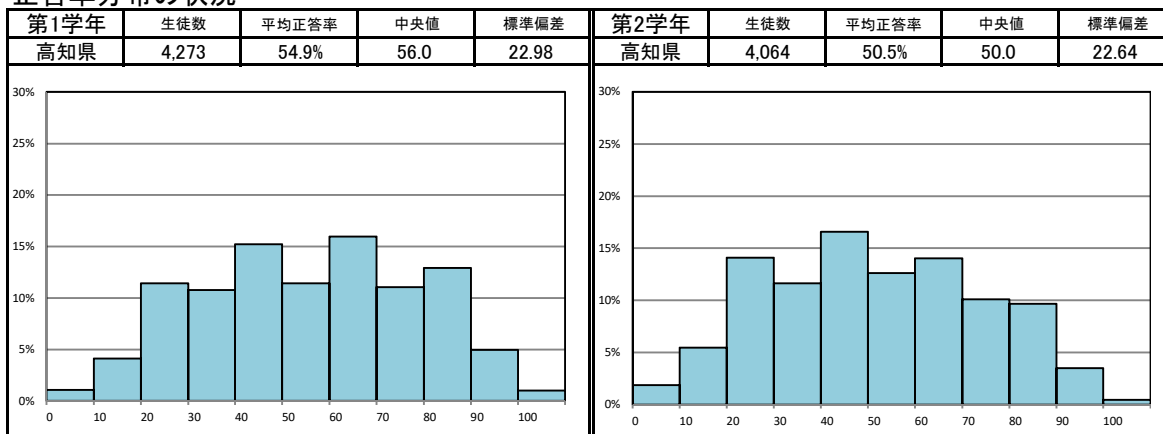
○学習指導に当たって

課題を追究したり解決したりする学習活動の中で、自分の考えを説明させることが大切である。その際、授業では、社会的事象の個々の仕組みや働きの理解にとどまらないよう、見方・考え方を働かせることができるような課題（問い）を設定し、追究・解決につなげていくことが重要である。例えば、歴史的分野では、時系列、諸事象の推移、事象相互のつながり（背景・原因・結果・影響）等に着目できる問い、地理的分野では、位置や分布、場所、人間と自然環境の相互依存等に着目できる問いの設定が考えられる。そして、その課題（問い）の追究・解決を経るなかで、資料を基に背景や影響を捉えたり、複数の資料を関連付けたりして考察し、自分が思考・判断したことについて、根拠を基に説明できるようにしていくことが必要である。

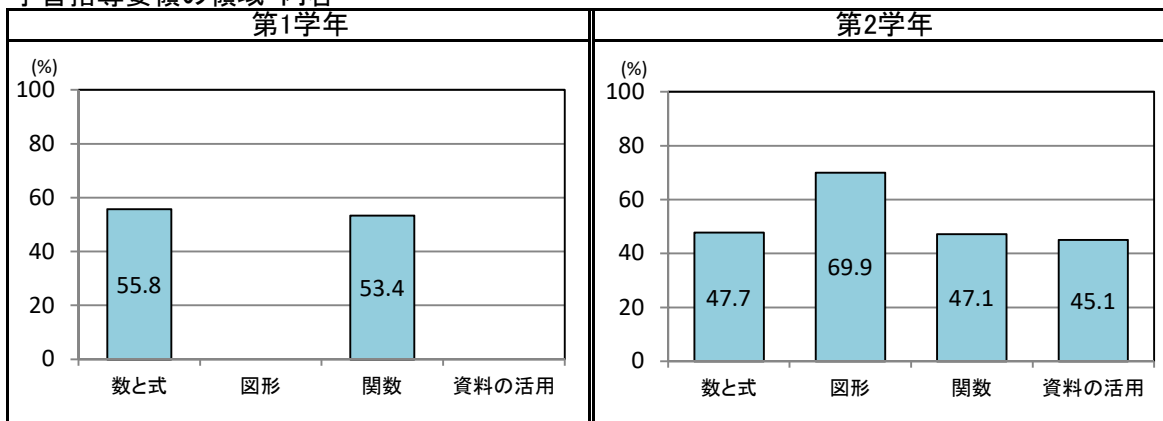
(6) 中学校数学

【分類・区別の状況】

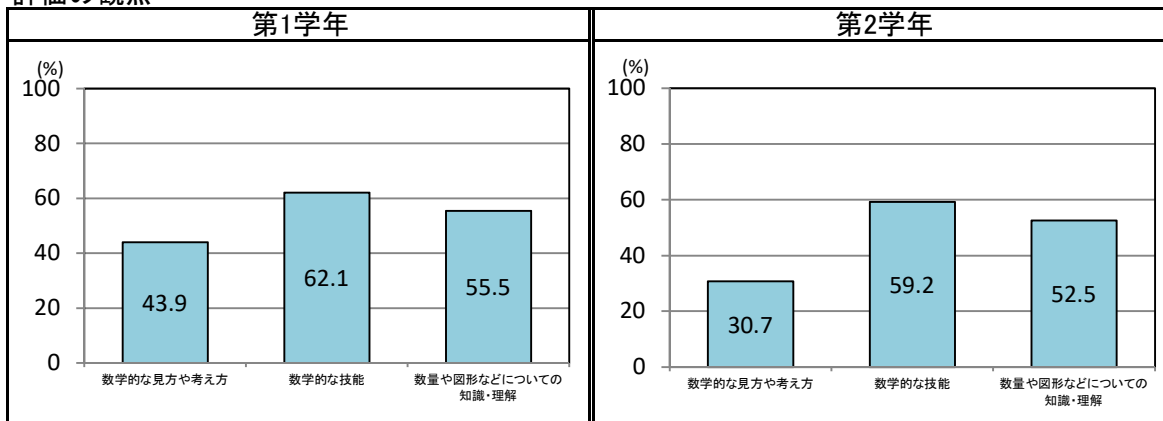
正答率分布の状況



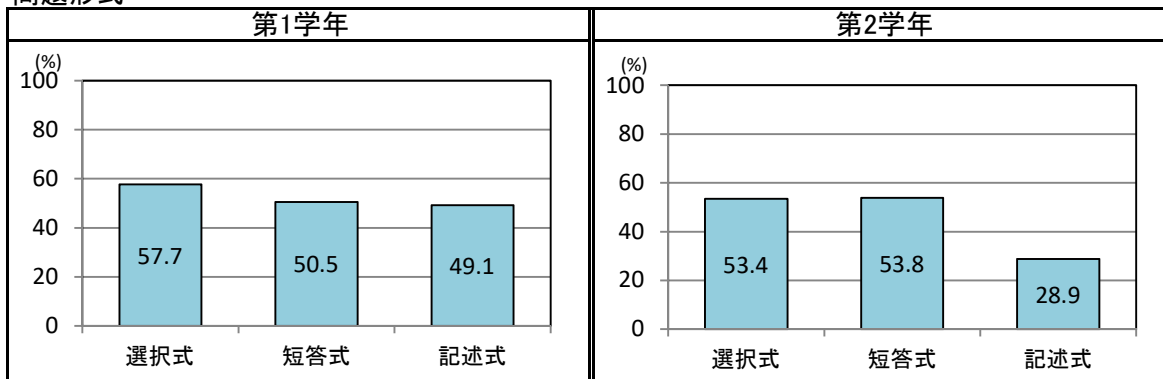
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



令和元年度高知県学力定着状況調査 設問別正答率【中学校第1学年数学】

問題番号			問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式		高知県	
通し番号	大問	小問			数と式	図形	関数	資料の活用	数学的な見方や考え方の	数学的な技能	数量や図形などに関する知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)
1	1	(1)	ある日の午後2時の気温が、午前6時の気温からどれだけ高くなったかを求める式を選ぶ。	ある基準に対して反対の方向や性質をもつ数量が正の数と負の数で表されることを理解している。	(1)エ					○	○			49.3	0.1
2		(2)	-1, -0.01, -1.5を, 小さいほうから順に並べたものを選ぶ。	負の数の大小関係を理解している。	(1)ア					○	○			59.5	0.1
3		(3)	絶対値が5である数を選ぶ。	絶対値の意味について理解している。	(1)ア						○	○			85.4
4	2	(1)	$(-3) \div (-4)$ を計算する。	負の数の除法ができる。	(1)ウ				○			○		68.4	3.9
5		(2)	aとbが負の数のとき, 四則計算の結果が必ず負の数になるものを選ぶ。	数の集合と四則計算の可能性について理解している。	(1)イ					○	○			53.0	0.4
6	3	(1)	$-3a - a$ を計算する。	同類項をまとめる計算ができる。	(2)ウ				○			○		46.5	2.5
7		(2)	$(4x+5) - (2x-3)$ を計算する。	簡単な一次式の減法の計算ができる。	(2)ウ				○			○		38.1	3.3
8	4	(1)	$x \times x + y \div 5$ を, 文字式の表し方にしたがって表した式を選ぶ。	文字式の表し方を理解している。	(2)イ					○	○			40.5	0.4
9		(2)	1000円では, x円の品物を3個買うことができなかったときの数量の関係を表した不等式を選ぶ。	数量の大小関係を不等式に表すことができる。	(2)エ					○		○		58.6	0.5
10	5		分数を含む一元一次方程式を解く際に用いられている等式の性質を選ぶ。	方程式を解く場面における等式の性質の用い方について理解している。	(3)イ					○	○			53.8	0.9
11	6	(1)	一次方程式 $6x = -18$ を解く。	簡単な一次方程式を解くことができる。	(3)ウ				○			○		81.9	3.9
12		(2)	比例式 $4:3=6:x$ を解き, xの値を選ぶ。	簡単な比例式を解くことができる。	(3)ウ					○		○		48.3	0.9
13	7		100m走で兄が弟より遅れてスタートしたとき, スタートして兄が何秒後に弟に追いつくかを求める。	必要な情報を適切に選択し, 数量の関係を数学的に処理することができる。	(3)ウ				○			○		26.1	5.5
14	8		文章問題を解くための一次方程式について, 両辺が表す数量を選ぶ。	与えられた一元一次方程式の両辺の意味を, 具体的な事象の中で読み取ることができる。	(3)ウ					○		○		56.3	0.5
15	9	(1)	座標平面上に表された点Aの座標 $(-4, -3)$ を選ぶ。	座標平面上にある点の位置を, 2つの数の組で表すことができる。	(1)ウ				○		○			88.4	0.3
16		(2)	yがxの関数である事象を選ぶ。	関数の意味を理解している。	(1)ア						○	○			51.3
17	10		比例の関係のxの値とそれに対応するyの値の関係について, 正しく説明しているものを選ぶ。	比例の意味を理解している。	(1)イ					○	○			51.5	0.4
18	11		反比例の関係を表す表を読み取り, その関係を式で表したものを選ぶ。	反比例の表から, xとyの関係を式で表すことができる。	(1)エ				○		○			51.4	0.4
19	12		与えられた式に値を代入して, yはxに比例していることを判断し, x, yの関係を表した式を選ぶ。	具体的な事象における2つの数量の関係が比例であることを判断し, その関係を式に表すことができる。	(1)エ				○		○			17.0	1.2
20	13	(1)	与えられた表を読み取り, 標高差を表した折れ線グラフを選ぶ。	正の数・負の数で表された表を読み取り, 折れ線グラフで表したものを選ぶことができる。	(1)エ					○		○		83.3	1.0
21		(2)	与えられた表を読み取り, 2つのポイント間の標高の高低について説明する。	正の数・負の数で表された表から, 2つのチェックポイント間の差がどうなっているのかを判断し, 判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。	(1)エ					○			○		43.2
22	14	(1)	20cm四方の板に使うつまようじの本数をもとに, 必要つまようじの本数を求める。	必要な情報を選択して的確に処理し, その結果を事象に即して解釈することができる。	(1)エ				○			○		41.9	6.6
23		(2)	つまようじの本数と重さの関係を表す式から, 3000本分の重さを求める方法を説明する。	事象を数学的に解釈し, 問題解決の方法を数学的に説明することができる。	(1)オ					○			○	56.2	19.1
24	15	(1)	xとyの関係を反比例と考えたとき, 表の中で誤っているyの値を選ぶ。	与えられた反比例の表の変化の様子を読み取り, 表の誤っている箇所を指摘することができる。	(1)エ				○			○		75.1	3.6
25		(2)	与えられた問題の答えが比例の式になるように, 問題文に追加する文章を記述する。	結論が一つに定まる問題にするために, 前提を数学的に表現することができる。	(1)エ					○			○	47.8	23.9

令和元年度高知県学力定着状況調査 設問別正答率【中学校第2学年数学】

問題番号			問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式		高知県		
通し番号	大問	小問			数と式	図形	関数	資料の活用	数学的考察のな見方や	数学的な技能	数量や図形などに関する知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)
1	1	(1)	nを自然数とするとき、いつでも奇数になる式を選ぶ。	数量を文字を用いた式で表すことができる。	(1)イ										73.7	0.2
2	1	(2)	等式 $6x-3y+9=0$ を y について解いた式を選ぶ。	等式を変形して、式のある文字について解くことができる。	(1)ウ										57.8	0.5
3	2	(1)	$3x^2+5x-3x-4x^2$ を計算する。	同類項をまとめることができる。	(1)ア										63.5	5.2
4	2	(2)	連立方程式 $(7x-y=-9, y=2x-1)$ を解く。	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる。	(2)ウ										56.6	11.7
5	3		男女の総数と男女の人数の差から、男子と女子の人数を求めるための連立方程式をつくる。	具体的な事象における数量の関係を捉え、連立二元一次方程式をつくることができる。	(2)ウ										45.7	14.3
6	4		示されたいくつかの一次関数の式とグラフの位置関係を読み取り、1つのグラフの式を選ぶ。	一次関数の式について、グラフと式を関連付けて理解している。	(1)イ										70.9	0.4
7	5	(1)	一次関数の関係を表す表を読み取り、その関係を式で表したものを選ぶ。	一次関数の表から、 x と y の関係を式で表すことができる。	(1)イ										63.0	0.5
8	5	(2)	一次関数 $y=ax+1$ について、 x の増加量と y の増加量から、 a の値を選ぶ。	一次関数について、 x と y の増加量から変化の割合を求めることができる。	(1)イ										32.8	0.5
9	6	(1)	グラフが x 軸に平行な直線となる方程式を選ぶ。	x 軸に平行なグラフになる方程式について理解している。	(1)ウ										29.5	0.3
10	6	(2)	連立二元一次方程式の解を、グラフ上の点から選ぶ。	連立二元一次方程式の解を座標とする点は、座標平面上の2直線の交点であることを理解している。	(1)ウ										53.4	1.0
11	7		直角三角形の辺上を移動する点を頂点とする三角形の面積について、移動時間と面積の関係を表すグラフを選ぶ。	事象における2つの数量の変化や対応の様子を捉え、その様子を表すグラフを描ける。	(1)エ										41.3	0.7
12	8	(1)	ある角の同位角を選ぶ。	同位角の意味を理解している。	(1)ア										75.3	0.2
13	8	(2)	平行線の間にある角の大きさを求める。	平行線や角の性質を用いて、角の大きさを求めることができる。	(1)ア										83.6	1.9
14	9		n 角形の外角の和は 360° であることの証明について正しい記述を選ぶ。	証明の必然性と意味を理解している。	(2)イ										49.7	0.4
15	10		三角形の合同の証明で、合同条件を記述する部分を補完し、証明を完成する。	証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している。	(2)ア, イ										70.9	0.2
16	11	(1)	通学時間について整理した度数分布表から、ある階級の相対度数を選ぶ。	与えられた度数分布表について、ある階級の相対度数を求めることができる。	1(1)ア										56.2	0.5
17	11	(2)	図書館で借りた本の冊数の最頻値が5冊だったことについて、必ずいえることを選ぶ。	最頻値の意味を理解している。	1(1)ア										61.1	0.7
18	11	(3)	小数第1位で四捨五入したら10になる数の値の範囲を不等号を使って表したものを選ぶ。	測定値が与えられた場合において、近似値と誤差の意味を理解している。	1(1)										38.2	0.9
19	12	(1)	示されたヒストグラムの階級の幅を答える。	ヒストグラムの階級の幅について理解している。	1(1)ア										48.1	8.7
20	12	(2)	ある読書時間がクラスの中で長いほうかどうかを、ヒストグラムを読み取って判断し、その理由を説明する。	資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的に説明することができる。	1(1)イ										22.0	4.6
21	13	(1)	連続する3つの整数の和が3の倍数になることについての説明について、正しく述べているものを選ぶ。	示された文字式による説明がどのようなことを意味しているのかを理解している。	(1)イ										16.5	3.4
22	13	(2)	連続する5つの整数の和が5の倍数になることの説明を完成する。	事柄が成り立つ理由を説明することができる。	(1)イ										42.2	18.4
23	13	(3)	m が奇数のとき、連続する m 個の整数の和がどのような数になるのかを予想する。	統合的・発展的に考察し、予想した事柄を表現することができる。	(1)イ										25.2	22.1
24	14	(1)	与えられた情報とグラフを組み合わせて読み取り、特定の地点の距離が何kmだったかを選ぶ。	与えられた文章やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる。	(1)エ										63.7	3.1
25	14	(2)	正さんが真一さんを追い抜いた地点について、グラフを用いて求める方法を説明する。	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。	(1)エ										22.7	25.1



成果・改善が見られる問題

<p>第1学年</p> <p>■問題番号 14 (2)</p> <p>■問題の内容 つまようじの本数と重さの関係を表す式から、3000本分の重さを求める。</p> <p>■出題のねらい 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。</p>	<p>正答率 56.2%</p>	<p>第2学年</p> <p>■問題番号 13 (2)</p> <p>■問題の内容 連続する5つの整数の和が5の倍数になることの説明を完成する。</p> <p>■出題のねらい 事柄が成り立つ理由を説明することができる。</p>	<p>正答率 42.2%</p>
---	------------------	---	------------------



数学的活動の各場面において、言語活動を充実する

○分析・考察

記述式の問題の解答状況に改善傾向が見られる。このことから、授業において、問題解決の結果や過程、見いだした数や図形の性質などについて説明し、伝え合う機会を設け、お互いの考えをよりよいものに改めたり、一人では気付くことのできなかったことを見いだしたりする機会を大切にしていることが考えられる。

○学習指導に当たって

今後、授業において、生徒が見通しをもって数学的活動に取り組み、振り返る機会を大切にすることが、学習指導の充実につながる。そのためには、生徒が、問題を発見し、問題から導かれる結果を予想したり、問題を解決するための構想する場面を設けることが重要である。このような学習は、生徒が数学的活動に主体的に取り組むためには必要である。また、問題を一旦解決し終えた後で、導いた結果やその価値を振り返って話し合い、共有することで、問題解決の意義や数学のよさを実感することになると同時に、統合的・発展的な考察に向けた新しい問題を得る機会ともなる。



課題が見られる問題

<p>第1学年</p> <p>■問題番号 3 (1)</p> <p>■問題の内容 $-3a - a$を計算する。</p> <p>■出題のねらい 同類項をまとめる計算ができる。</p>	<p>正答率 46.5%</p>	<p>第2学年</p> <p>■問題番号 2 (1)</p> <p>■問題の内容 $3x^2 + 5x - 3x - 4x^2$を計算する。</p> <p>■出題のねらい 同類項をまとめることができる。</p>	<p>正答率 63.5%</p>
--	------------------	--	------------------



問題解決の過程や結果を振り返り、評価・改善する

○分析・考察

同類項をまとめるという意味が、学年が上がっても理解できていない状況が見られる。これは文字を用いた式と、具体的な事象と結びつけて、式で表したり、その意味を読み取ったりという言語活動が不足していたり、計算結果を振り返ることが活動として不足したりすることに原因があると考えられる。また、文字を用いて数量の関係や法則などを式に表現するときに、 $a + b$ 、 $a - b$ という表現は、操作の方法を表しているとともに、操作の結果も表しているという式の見方ができていないことも原因と捉えている。

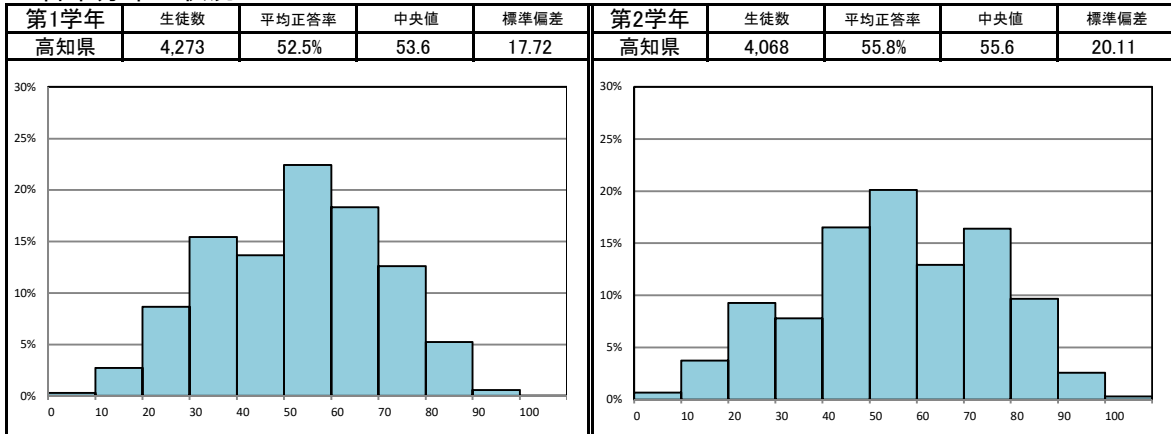
○学習指導に当たって

文字式の計算を確実にできるようにしていくためには、計算結果について具体的な数を代入して確認する活動を取り入れ、言語活動を充実させることが必要である。例えば、問題番号3(1)において、計算の結果が合っているかどうかを判断するために、生徒にその解決方法を考えさせる中で、与えられた式と計算した後の式に数を代入して、式の値が一致するかどうかを考える場面を設定し、計算の過程を吟味する態度を身に付けることが重要である。その際、「 $-3a - a = 3$ 」と解答したものを取り上げ、どこに誤りがあるかを見いだせるようにしたり、係数に着目して正しく計算する方法を考えられるようにしたりすることが大切である。

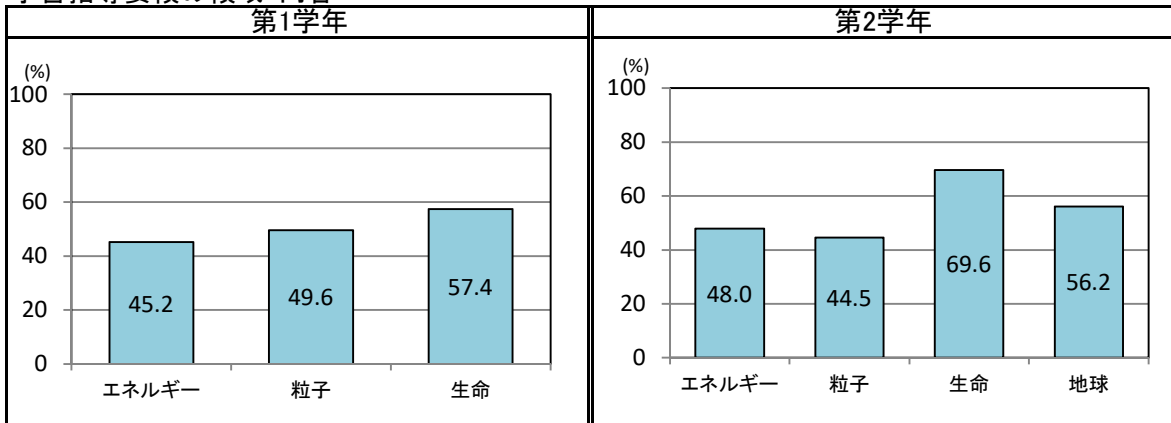
(7) 中学校理科

【分類・区別の状況】

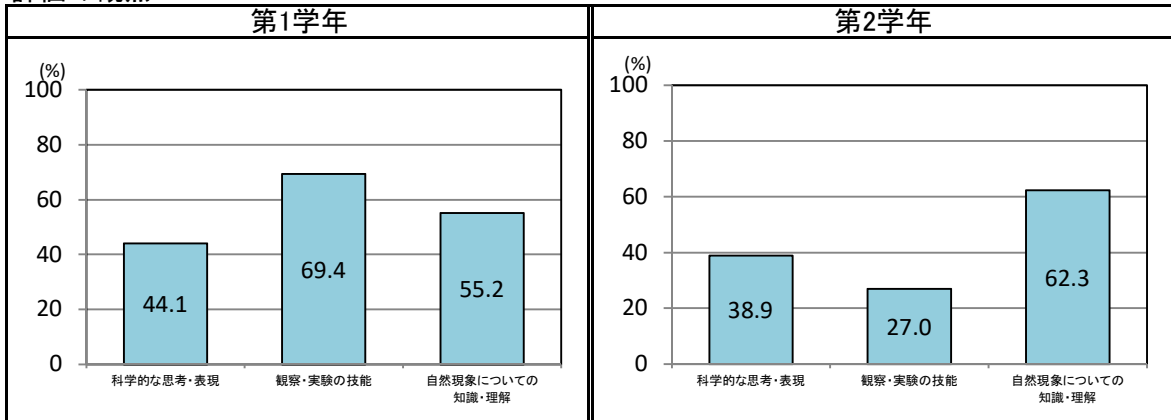
正答率分布の状況



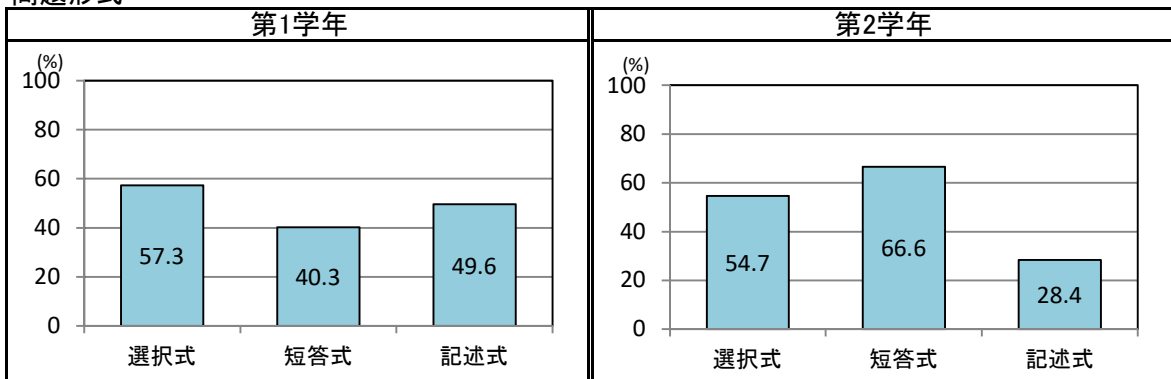
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



令和元年度高知県学力定着状況調査 設問別正答率【中学校第1学年理科】

通し 番号	問題番号		問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式		高知県	
	大	小			エネルギー	粒子	生命	地球	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	識・自然現象についての知識	選択式	短答式	記述式	正答率(%)
1	1	(1)	二酸化炭素を検出した液体を選ぶ。	植物の葉のはたらきを確かめるために使用する試薬を適切に選ぶことができる。			II(1) イ(イ)			○	○			80.8	0.1
2		(2)	葉を入れない試験管を用意する理由を書く。	植物の葉のはたらきを確かめる実験において、対照実験が必要な理由を説明できる。			II(1) イ(イ)		○			○		80.6	6.0
3		(3)	実験から考えられることを選ぶ。	植物の葉のはたらきを確かめる実験の結果を考察できる。			II(1) イ(イ)		○		○				79.4
4	2	(1)	ホウセンカの茎の横断面と縦断面を選ぶ。	ホウセンカの茎の断面のようすを理解している。			II(1) イ(イ)			○	○			53.1	0.2
5		(2)	水の減少量から考えられることを選ぶ。	蒸散の実験で、条件を変えたときの実験結果を分析し、解釈することができる。			II(1) イ(イ)		○		○			62.1	0.3
6		(3)	根から吸い上げられた水が通る部分と、植物のからだから水が出ていく現象を選ぶ。	葉や茎の維管束のつくりとはたらきを、関連付けて理解している。			II(1) イ(イ)			○	○			77.7	0.2
7	3	(1)	分類の観点を選ぶ。	双子葉類と単子葉類を分類する観点を理解している。			II(1) ウ(ア)			○	○			28.9	0.7
8		(2)	アブラナと同じなかに分類される植物を選ぶ。	アブラナと同じなかに分類される植物を理解している。			II(1) ウ(ア)			○	○			49.3	0.7
9		(3)	シダ植物とコケ植物に見られる特徴を分類して書く。	シダ植物とコケ植物に見られる特徴について理解している。			II(1) ウ(イ)			○	○			45.1	0.3
10	4	(1)	ルーペの正しい使い方を選ぶ。	ルーペの適切な操作を身につけている。			II(1) ア(ア)			○	○			71.8	0.4
11		(2)	ピーマンの食べる部分が花のどの部分かを選び、その花のつくりを書く。	ピーマンの花のつくりと果実のつくりを関連付けて推測することができる。			II(1) イ(ア)		○			○		43.0	1.1
12		(3)	イチヨウの雌花のどの部分がぎんなんになるかを書く。	イチヨウの雌花と果実のつくりとはたらきを関連付けて推測することができる。			II(1) イ(ア)		○			○		16.8	8.5
13	5	(1)	卵と食塩水の密度の関係を選ぶ。	卵が食塩水に浮き沈みする現象と密度を、関連付けることができる。			I(2) ア(ア) I(2) イ(ア)		○		○			54.1	0.9
14		(2)	物質の質量は同じなのに密度がちがう理由を書く。	食塩水の質量が同じでも卵の浮き沈みする現象がちがうという実験結果を考察し、その理由を説明できる。			I(2) ア(ア) I(2) イ(ア)		○			○		9.8	15.4
15	6	(1)	炭素をふくむ物質の名前を書く。	炭素をふくむ物質のことを、「有機物」ということを理解している。			I(2) ア(ア)			○		○		49.8	15.1
16		(2)	寒い地域でアルミニウム製ではなく、プラスチック製のサッシを使う理由を書く。	金属やプラスチックの性質をもとに、金属が使用されていない理由を説明できる。			I(2) ア(ア)		○				○	18.6	13.2
17	7	(1)	二酸化炭素を発生させるために石灰石に加える液体を選ぶ。	二酸化炭素を発生させるために用いる物質を指摘できる。			I(2) ア(イ)				○	○		65.2	0.7
18		(2)	酸素、二酸化炭素、水素のいずれの気体も集めることができる方法を選ぶ。	気体の捕集方法についての技能を身につけている。			I(2) ア(イ)		○		○			73.3	0.7
19		(3)	アンモニアの性質を選ぶ。	アンモニアの性質を理解している。			I(2) ア(イ)			○	○			88.0	0.9
20	8	(1)	加熱した時間とエタノールの温度の関係をグラフに表す。	加熱した時間とエタノールの温度の関係をグラフに表すことができる。			I(2) ウ(イ)			○		○		51.7	5.0
21		(2)	水の状態を選ぶ。	水の温度変化と状態について理解している。			I(2) ウ(イ)				○	○		49.6	1.5
22		(3)	水とエタノールの混合物を加熱したときの出てくる気体を選ぶ。	水、エタノールをそれぞれ加熱した実験結果をもとに、水とエタノールの混合物を加熱したときに出てくる気体を判断できる。			I(2) ウ(イ)		○			○		61.2	1.9
23	9	(1)	質量パーセント濃度の式にあてはまる言葉と、蒸発させる水の質量を選ぶ。	特定の質量パーセント濃度にするために、水を何gにすればよいかを求めることができる。			I(2) イ(ア)		○			○		15.2	1.1
24		(2)	水溶液中の粒子モデルを選ぶ。	水溶液では、溶質が均一に分散していることを、粒子モデルと関連付けて理解している。			I(2) イ(ア)			○	○			68.7	1.0
25		(3)	用意するグラニュー糖の水溶液の温度を選ぶ。	溶解度曲線をもとに、グラニュー糖の水溶液から、特定の質量のグラニュー糖の結晶をとり出すための温度を指摘できる。			I(2) イ(イ)		○			○		39.6	1.7
26	10	(1)	スクリーンに物体と同じ大きさの像がうつったときの距離を選ぶ。	物体と実像の大きさが同じであるときの、物体・凸レンズ・スクリーンの位置関係がわかる。			I(1) ア(イ)				○	○		21.1	1.7
27		(2)	凸レンズによってできる実像を選ぶ。	凸レンズによってできる像を調べる実験結果を分析し、解釈することができる。			I(1) ア(イ)		○			○		48.9	1.7
28		(3)	スクリーンにうつらず、凸レンズをのぞいたときに見える像の名前を書く。	虚像について理解している。			I(1) ア(イ)				○	○		65.7	11.8

令和元年度高知県学力定着状況調査 設問別正答率【中学校第2学年理科】

通し番号	問題番号		問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式			高知県	
	大問	小問			エネルギー	粒子	生命	地球	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然現象についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)
1	1	(1)	火成岩の特徴から、火山の形とマグマのねばりけを選ぶ。	火成岩の特徴と、その火成岩をつくった火山の形とマグマの粘性を、関連付けて理解している。				II (2) ア(ア)			○	○			48.4	0.1
2		(2)	モデル実験から、火成岩のできかたを選ぶ。	火成岩がどのようにできたかを、モデル実験によって確かめることができる。				II (2) ア(ア)			○	○			42.7	0.2
3	2	(1)	堆積岩についての説明で、あてはまる正しい言葉を選ぶ。	堆積岩が粒の大きさで区別されることを理解している。				II (2) イ(ア)			○	○			74.2	0.1
4		(2)	化石ができた時代についての説明にあてはまる正しい言葉を選ぶ。	示準化石をもとに、地層が堆積した年代を推測することができる。				II (2) イ(ア)	○			○			44.8	0.1
5		(3)	しゅう曲のようすと、しゅう曲ができるときにはたらいた力の向きを選ぶ。	しゅう曲のようすと、しゅう曲ができるときにはたらいた力の向きについて理解している。				II (2) イ(ア)			○	○			65.5	0.4
6	3	(1)	マグニチュードと震度についての正しい説明を選ぶ。	マグニチュードと震度について理解している。				II (2) ア(イ)			○	○			76.0	0.1
7		(2)	初期微動継続時間を求める。	地震の記録から、ある観測地点での初期微動継続時間を求めることができる。				II (2) ア(イ)	○				○		65.0	5.0
8		(3)	地震が起きるときのプレートの動きを書く。	南海トラフでのプレートの動きについて説明できる。				II (2) ア(イ)	○					○	33.0	12.9
9	4	(1)	紙の一部が黒くなった理由を選ぶ。	水は熱によって化学変化せず、状態変化することを理解している。				I (4) ア(ア)			○	○			50.6	0.2
10		(2)	水、水素、酸素が単体、化合物のどれに分類されるかを選ぶ。	化合物と単体について理解している。				I (4) ア(イ)			○	○			61.1	0.3
11		(3)	陰極側に集まった気体とその性質を選ぶ。	水の電気分解によって発生した気体と、その気体であることを確認する方法を理解している。				I (4) ア(ア)			○	○			64.1	0.3
12	5	(1)	加熱前も加熱後の質量を選ぶ。	加熱前と加熱後で、全体の質量は変化しないことを理解している。				I (4) ウ(ア)			○	○			32.9	0.8
13		(2)	銅を酸素中で熱したあとピンチコックをはずしたときに音が出る理由を選ぶ。	容器内で酸素が銅に化合したことで、容器内の気圧が下がったことを考察できる。				I (4) ウ(ア)	○			○			19.3	0.5
14	6	(1)	アンモニアの気体の性質を理解し、実験の道具を何にかえるかを書く。	実験を安全に行うために、アンモニアの気体の性質をもとに実験方法を検討し、改善することができる。				I (4) イ(ウ), I (2) ア(イ)	○			○			47.2	12.8
15		①	① 周囲から熱をうばう反応の名前を書く。	吸熱反応について理解している。				I (4) イ(ウ)			○	○			57.2	8.1
16		②	② 塩化アンモニウムと水酸化バリウムを混ぜてからしばらくすると、温度が下がらなくなる理由を書く。	実験結果から、温度が上がり始めた理由を考察し、説明できる。				I (4) イ(ウ)	○				○		23.9	19.2
17	7	(1)	植物の細胞にだけ見られ、動物の細胞には見られない細胞のつくりを選ぶ。	植物の細胞と動物の細胞のつくりを理解している。				II (3) ア(ア)			○	○			50.7	0.5
18		(2)	からだか1個の細胞からなる生物の名前を書く。	単細胞生物について理解している。				II (3) ア(ア)			○	○			80.5	4.4
19		(3)	組織が集まって1つの形をもち、特定のはたらきをする部分の名前を書く。	器官について理解している。				II (3) ア(ア)			○	○			53.1	12.7
20	8	(1)	① セキツイ動物の体温の変化を選ぶ。	セキツイ動物を、恒温動物と変温動物に分けることができる。				II (3) ウ(ア)			○	○			77.3	0.5
21			② 卵から産まれる子の産まれ方の名前を書く。	卵生について理解している。				II (3) ウ(ア)			○	○			86.2	5.4
22		(2)	イカのように、外とう膜とよばれる膜をもつなかまの名前を書く。	軟体動物について理解している。				II (3) ウ(イ)			○	○			76.7	5.3
23	9	(1)	反射の例を選ぶ。	反射として起こる現象を指摘できる。				II (3) イ(イ)			○	○			68.9	0.3
24		(2)	肉食動物の目のつき方の利点を選ぶ。	草食動物、肉食動物の目のつき方と、視野と立体的に見える範囲が違うことを理解している。				II (3) イ(イ)			○	○			63.6	0.3
25	10	(1)	① スポンジのへこみが最も大きくなる置き方を選ぶ。	物体が接する面積と圧力の大きさの関係を理解している。				I (1) イ(イ)			○	○			35.0	0.4
26			② 2つの物体を重ねて置いたときに加わる圧力を求める式を選ぶ。	2つの物体を重ねて置いたときに加わる圧力を求める式をつくることができる。				I (1) イ(イ)			○	○			27.0	0.9
27		(2)	大気圧による現象を選ぶ。	大気圧による現象を指摘できる。				I (1) イ(イ)			○	○			81.9	0.5



成果・改善が見られる問題

第1学年

■問題番号 1 (2)

■問題の内容

葉を入れない試験管を用意する理由を書く。

■出題のねらい

植物の葉のはたらきを確かめる実験において、対照実験が必要な理由を説明できる。

正答率 80.6%

ポイント

予想や仮説を立て、検証するための観察・実験を計画する指導の充実

○分析・考察

平成30年度高知県学力定着状況調査で課題とされていた対照実験に関する設問の結果と比較した際、一定の改善が見られる。このことから日々の授業において、用意された器具等で実験を行うのではなく、光合成で気体の出入りを調べるためには何が必要か、条件をどう制御しなければならないかを考えさせたり、実験に必要なものを生徒に考えて用意させるなどの活動が充実してきたことが考えられる。

○学習指導に当たって

「対照実験」という科学用語で大きくまとめているところから一歩進んで、石灰水の色が変わる原因として考えられる要因を全て挙げ（葉の大きさや有無、石灰水の量、日光に当てる時間、試験管の大きさ等）、それらの妥当性を検討することが必要である。また、計画が立てられたら、その実験結果を予想し、課題解決の見通しをもたせることも大切である。



課題が見られる問題

第1学年

■問題番号 5 (2)

■問題の内容

物質の質量は同じなのに密度が違う理由を書く。

■出題のねらい

食塩水の質量が同じでも卵の浮き沈みする現象が違うという実験結果を考察し、その理由を説明できる。

正答率 9.8%

第2学年

■問題番号 6 (2) ②

■問題の内容

塩化アンモニウムと水酸化バリウムを混ぜてからしばらくすると、温度が下がらなくなる理由を書く。

■出題のねらい

実験結果から、温度が上がり始めた理由を考察し、説明できる。

正答率 23.9%

ポイント

日常生活や他教科等と関連させた指導の充実

○分析・考察

「同じ質量でも体積が異なっていれば密度も異なる」という密度の概念形成に課題がある。

これは、質量パーセント濃度の問題にも弱さがあることから、割合や単位量あたりの大きさに関する概念の未定着が一因と考えられる。

○学習指導に当たって

理科で学習した知識・技能に関連した自然の事物・現象や科学技術などについて、考えたり説明したりする学習場面を単元全体の課題として設定したり、単元の終わりに設定したりするような指導を充実させる必要がある。

また、算数科で用いられるテープ図の利用や、数学科との連携など、教科横断的に取り組むことも大切である。

ポイント

結果を分析して解釈する指導の充実

○分析・考察

これまでの学力調査より、結果（事実）と考察（結果から分かること）を区別することには改善が見られるが、どのような課題・問いを解決するために行っている実験かを踏まえた考察をすることには依然課題が見られる。

実験や結果の記録が終わってから考察をするのではなく、どのような結果が得られそうかの見通しをもって実験を行う指導が十分ではないことが考えられる。

○学習指導に当たって

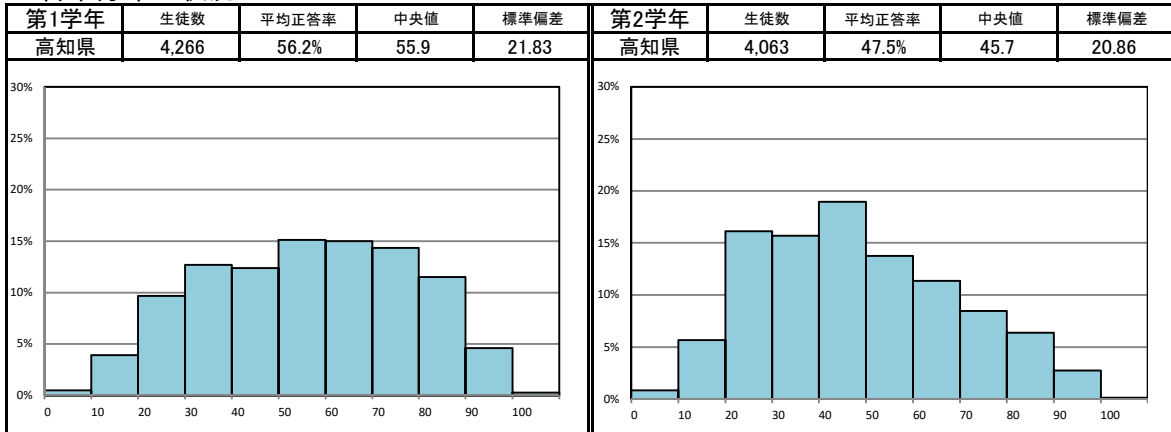
気付きや目的に応じた課題を設定し、予想や仮説を立て、実験・観察を行い、ここで得られたデータを課題に正対させて考察すること（分析・解釈）が必要である。

その際、比較や関係付けなどの考え方を活用できるように、助言や問い返しを行うことが大切である。

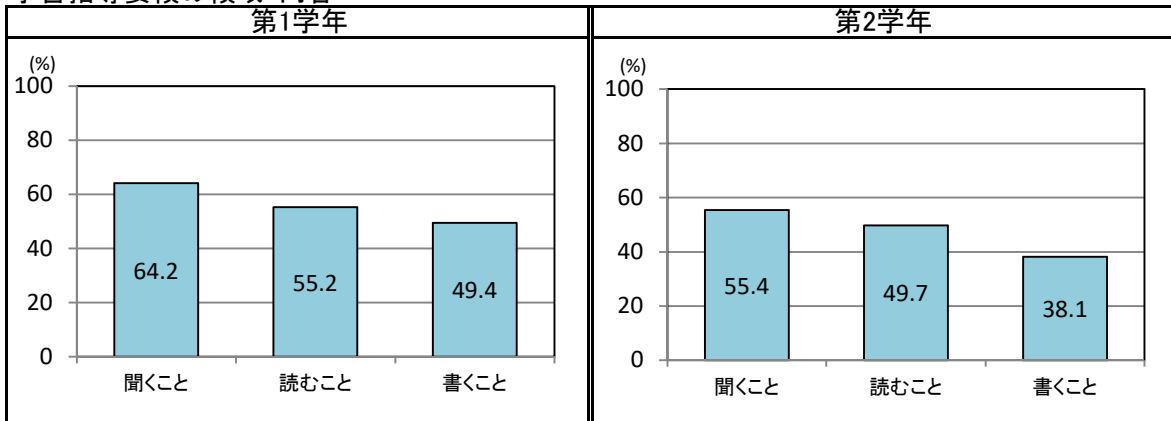
(8) 中学校外国語（英語）

【分類・区分別の状況】

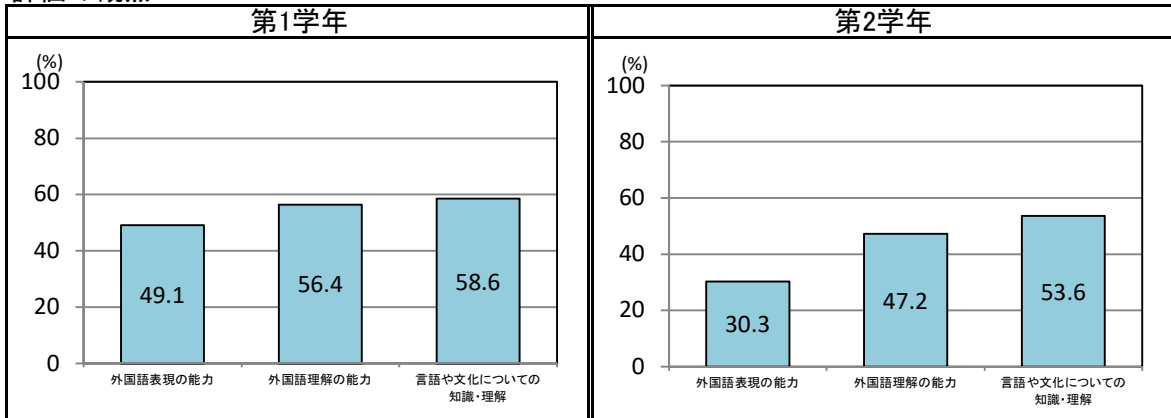
正答率分布の状況



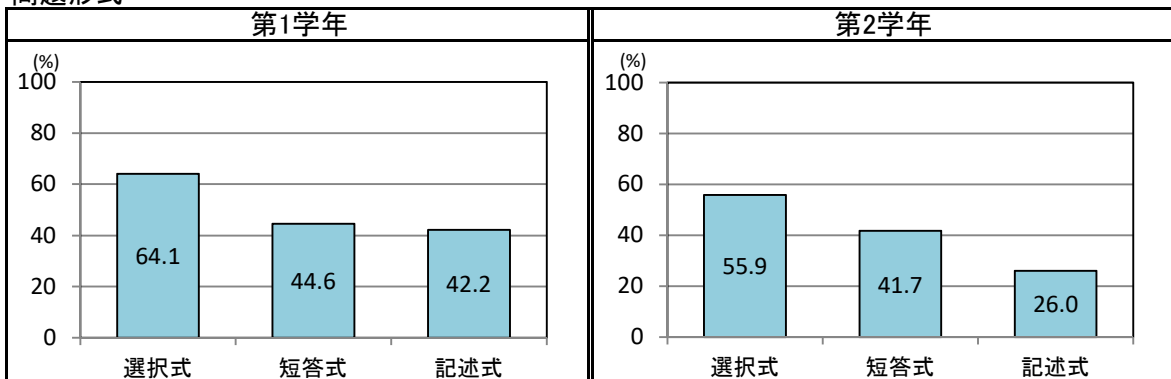
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



令和元年度高知県学力定着状況調査 設問別正答率【中学校第1学年外国語(英語)】

問題番号	大問	中問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等			評価の観点			問題形式	高知県								
						聞くこと	読むこと	書くこと	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語文化についての能力		選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)				
1			(1)	英文(Mari's birthday is June 15.)を聞き取り、適切なものを選ぶ。	英語(モノローグ)を聞いて、基本的な英語の音声の特徴を捉え、情報を正確に聞き取ることができる。(日付)	ア	イ					○	○		81.7	0.3					
			(2)	英文(My brother plays baseball, but he doesn't play volleyball.)を聞き取り、適切なものを選ぶ。	英語(モノローグ)を聞いて、基本的な英語の音声の特徴を捉え、情報を正確に聞き取ることができる。(動作)	ア	イ					○	○		89.7	0.2					
			(3)	英文(I have breakfast with my sister at six thirty.)を聞き取り、適切なものを選ぶ。	英語(モノローグ)を聞いて、基本的な英語の音声の特徴を捉え、情報を正確に聞き取ることができる。(時刻と行動)	ア	イ						○	○		68.5	0.4				
			(4)	英文(This is my white dog, and that is my black cat.)を聞き取り、適切なものを選ぶ。	英語(モノローグ)を聞いて、基本的な英語の音声の特徴を捉え、情報を正確に聞き取ることができる。(ペットの位置、ペットの色)	ア	イ						○	○		50.7	0.5				
2			(1)	対話を聞いて、適切に応じているもの(I like fall.)を選ぶ。	質問や依頼などの対話(ダイアログ)を聞いて、適切に応じることができる。(好きな季節をたずねられて)	ウ						○	○		55.7	1.1					
			(2)	対話を聞いて、適切に応じているもの(I have ten books.)を選ぶ。	質問や依頼などの対話(ダイアログ)を聞いて、適切に応じることができる。(本の数をたずねられて)	ウ						○	○		82.5	0.5					
			(3)	対話を聞いて、適切に応じているもの(Oh, thank you.)を選ぶ。	質問や依頼などの対話(ダイアログ)を聞いて、適切に応じることができる。(自分のものかたずねられて)	ウ						○	○		66.0	0.7					
3			(1)	スピーチの中の<I'm thirteen years old.>を聞き取り、適切なものを選ぶ。	まとまりのある英文の概要や要点を適切に聞き取ることができる。(年齢)	オ						○	○		62.6	0.4					
			(2)	スピーチの中の<I'm a member of the music club.>を聞き取り、適切なものを選ぶ。	まとまりのある英文の概要や要点を適切に聞き取ることができる。(所属クラブ)	オ						○	○		85.9	0.2					
			(3)	スピーチの中の<She practices the piano, too. We practice it on Saturdays.>を聞き取り、適切なものを選ぶ。	まとまりのある英文の概要や要点を適切に聞き取ることができる。(土曜日にすること)	オ						○	○		55.1	0.3					
4				対話を聞いて、資料を基に適切な英文を書く。	対話(ダイアログ)の内容を聞き取り、資料を基に適切に応じることができる。	ウ						○		7.6	27.3						
5			(1)	① 対話文に入る適切な語句(Where)を選ぶ。	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けている。(whereで始まる疑問文)								※1	○	○	46.6	0.1				
				② 対話文に入る適切な語句(her)を選ぶ。	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けている。(目的格の代名詞)										※1	○	○	62.6	0.3		
				③ 対話文に入る適切な語句(about)を選ぶ。	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けている。(会話表現)											※1	○	○	61.0	0.6	
				④ 対話文に入る適切な語句(Who's)を選ぶ。	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けている。(whoで始まる疑問文)											※1	○	○	62.3	3.9	
6			(2)	① 対話文に入る適切な語句(boy)を書く。	「書くこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付け、単語を正しく書くことができる。(少年)									※2	○	○	42.7	12.6			
				② 対話文に入る適切な語句(live)を書く。	「書くこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付け、単語を正しく書くことができる。(住む)											※2	○	○	70.6	6.7	
6				(1)	メールの内容を読み取り、その返信として適切なものを選ぶ。	電子メールなどの文章から書き手の意向を理解し、適切に応じることができる。	ウ							○	○	73.9	0.4				
				(2)	英文の内容を読み取り、そうじ分担表を基に、その応答として適切なものを選ぶ。	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる。	ウ								○	○	63.9	0.7			
				(3)	① 表を基にした対話文を読み取り、その内容に合う適切な語の組み合わせを選ぶ。	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる。	ウ									○	○	53.5	1.1		
② 表を基にした対話文を読み取り、その内容に合う適切な1文を選ぶ。	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる。	ウ										○	○	59.2	1.1						
7				(1)	アヤが通う中学校の掲示板上に書かれた英文を読んで、その内容として適切なものを選ぶ。	まとまりのある文章を読んで、大切な部分などを正確に読み取ることができる。	ウ							○	○	52.6	0.7				
				(2)	アヤが通う中学校の掲示板上に書かれた英文を読んで、その内容として適切なものを選ぶ。	まとまりのある文章を読んで、大切な部分などを正確に読み取ることができる。	ウ								○	○	53.2	1.4			
				(3)	アヤが通う中学校の掲示板上に書かれた英文を読んで、何について書かれたものが適切なものを選ぶ。	まとまりのある文章を読んで、話の概要や要点を読み取ることができる。	ウ								○	○	59.5	1.4			
8				(4)	アヤとトムの会話の内容を踏まえた語句(every year)を書く。	話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方を捉えることができる。	オ							○	○	14.6	22.4				
8				(1)	<Does he practice it>の文の構成を理解し、正しい語順に並べて書く。	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができる。(3人称単数の疑問文)								イ	○	○	29.6	4.8			
				(2)	<Look at that house>の文の構成を理解し、正しい語順に並べて書く。	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができる。(命令文)										イ	○	○	47.9	5.3	
				(3)	<What time is it>の文の構成を理解し、正しい語順に並べて書く。	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができる。(時刻をたずねる文)											イ	○	○	62.5	5.0
				(4)	<How many dogs do you>の文の構成を理解し、正しい語順に並べて書く。	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができる。(数をたずねる文)											イ	○	○	44.2	5.3
9				(1)	対話文の内容を読み取り、彼女は誰ですかという内容の文を、適切に書く。	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができる。(人がたれなのかたずねる文を書く)								イ	○	○	33.9	23.1			
				(2)	対話文の内容を読み取り、動物が好きだという内容の文を、適切に書く。	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができる。(動物園に来た理由となる文を書く)										イ	○	○	22.0	25.9	
10				(1)	第1文に、I likeに続けて、自分の好きなものの名前を書く。	与えられたテーマについて自分の考えや気持ちなどを整理し、読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くことができる。								オ	○	○	77.4	11.2			
				(2)	いづれかの文に、自分の好きなものについて説明する文を書く。	与えられたテーマについて自分の考えや気持ちなどを整理し、読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くことができる。										オ	○	○	63.7	11.2	
				(3)	テーマによって、自分の好きなものについて15語以上で書く。	与えられたテーマについて自分の考えや気持ちなどを整理し、読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くことができる。											オ	○	○	48.8	11.2

※1読むことに必要な表現、文法についての知識を問う
 ※2書くことに必要な表現、文法についての知識を問う

令和元年度高知県学力定着状況調査 設問別正答率【中学校第2学年外国語(英語)】

問題番号	大問	中問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等			評価の観点		問題形式		高知県		
						聞くこと	読むこと	書くこと	外国語理解の能力	外国語表現の能力	知識・技能	態度・規範	選択式	短答式	記述式
1		(1)		英文 (You must not take pictures here.) を聞き取り、適切なものを選ぶ。	英語(モノローグ)を聞いて、基本的な英語の音声の特徴を捉え、情報を正確に聞き取ることができる。(してはいけないこと)	ア	イ				○	○		57.5	0.5
2		(2)		英文 (Yumi will come home at four thirty.) を聞き取り、適切なものを選ぶ。	英語(モノローグ)を聞いて、基本的な英語の音声の特徴を捉え、情報を正確に聞き取ることができる。(動作と時刻)	ア	イ				○	○		75.2	0.4
3		(3)		英文 (You use it when you take pictures. You only push the button.) を聞き取り、適切なものを選ぶ。	英語(モノローグ)を聞いて、基本的な英語の音声の特徴を捉え、情報を正確に聞き取ることができる。(もの説明)	ア	イ				○	○		57.3	0.6
4		(4)		英文 (The newspaper says that it is going to be cloudy and then rainy today.) を聞き取り、適切なものを選ぶ。	英語(モノローグ)を聞いて、基本的な英語の音声の特徴を捉え、情報を正確に聞き取ることができる。(今日の天気)	ア	イ				○	○		68.8	0.4
5		(1)		対話を聞いて、適切に応じているもの (Every Friday.) を選ぶ。	質問や依頼などの対話(ダイアログ)を聞いて、適切に応じることができる。(いつ練習するかを知らせて)	ウ					○	○		50.1	0.5
6		(2)		対話を聞いて、適切に応じているもの (You must clean now.) を選ぶ。	質問や依頼などの対話(ダイアログ)を聞いて、適切に応じることができる。(掃除の必要性を確かめられて)	ウ					○	○		48.9	0.5
7		(3)		対話を聞いて、適切に応じているもの (I'm reading a Japanese manga.) を選ぶ。	質問や依頼などの対話(ダイアログ)を聞いて、適切に応じることができる。(何をしているか知らせて)	ウ					○	○		37.0	0.7
8		(1)		スピーチの中の <He enjoys playing the guitar every Sunday.> を聞き取り、適切なものを選ぶ。	まとまりのある英文の概要や要点を適切に聞き取ることができる。(楽しむこと)	オ					○	○		87.9	0.2
9		(2)		スピーチの中の <Now she is a math teacher at school.> を聞き取り、適切なものを選ぶ。	まとまりのある英文の概要や要点を適切に聞き取ることができる。(母の現在の職業)	オ					○	○		59.1	0.3
10		(3)		スピーチの中の <He often tells me about animals in Australia.> を聞き取り、適切なものを選ぶ。	まとまりのある英文の概要や要点を適切に聞き取ることができる。(兄のお気に入りの話題)	オ					○	○		63.5	0.4
11				対話を聞いて、資料を基に適切な英文を書く。	対話(ダイアログ)の内容を聞き取り、資料を基に適切に応じることができる。	ウ					○	○		4.3	28.1
12			①	対話文に入る適切な語句 (playing) を選ぶ。	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けている。(動名詞)		※1				○	○		44.5	0.2
13			②	対話文に入る適切な語句 (if) を選ぶ。	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けている。(接続詞if)		※1				○	○		66.6	0.3
14			③	対話文に入る適切な語句 (Don't) を選ぶ。	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けている。(否定の命令文)		※1				○	○		46.0	0.7
15			④	対話文に入る適切な語句 (to be) を選ぶ。	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けている。(名詞的用法の不定詞)		※1				○	○		82.0	3.1
16			①	対話文に入る適切な語句 (walk) を書く。	「書くこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付け、単語を正しく書くことができる。(歩く)			※2			○	○		21.3	4.7
17			②	対話文に入る適切な語句 (idea) を書く。	「書くこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付け、単語を正しく書くことができる。(考え)			※2			○	○		52.6	13.6
18			③	対話文に入る適切な語句 (tired) を書く。	「書くこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付け、単語を正しく書くことができる。(疲れた)			※2			○	○		31.7	14.3
19		(1)		メールの内容を読み取り、その返信として適切なものを選ぶ。	電子メールなどの文章から書き手の意向を理解し、適切に応じることができる。	エ					○	○		59.2	0.5
20		(2)		英文の内容を読み取り、「みなと湯」の料金表を基に、アキの発言として適切なものを選ぶ。	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる。	ウ					○	○		68.8	0.5
21		①		表を基にした対話文を読み取り、その内容に合う適切な語句を選ぶ。	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる。	ウ					○	○		60.5	0.5
22		②		表を基にした対話文を読み取り、その内容に合う適切な1文を選ぶ。	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる。	ウ					○	○		26.9	1.1
23		(1)		ハルカのスピーチを読んで、その内容として適切なものを選ぶ。	まとまりのある文章を読んで、大切な部分などを正確に読み取ることができる。	ウ					○	○		48.2	0.7
24		(2)		ハルカのスピーチを読んで、その内容として適切なものを選ぶ。	まとまりのある文章を読んで、大切な部分などを正確に読み取ることができる。	ウ					○	○		29.8	1.0
25		(3)		ハルカのスピーチを読んで、ハルカの祖母がハルカに伝えたかたこととして適切なものを選ぶ。	まとまりのある文章を読んで、話の概要や要点を読み取ることができる。	ウ					○	○		36.5	1.6
26		(4)		ハルカがジュニーに送ったメールの内容を踏まえた語句 (to see) を書く。	話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方を捉えることができる。	オ					○	○		27.6	28.6
27		(1)		<I'm not going to go>の文の構成を理解し、正しい語順に並べて書く。	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができる。(be going to ~の否定文)				イ		○	○		54.4	4.2
28		(2)		<What were you doing>の文の構成を理解し、正しい語順に並べて書く。	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができる。(過去進行形の疑問文)				イ		○	○		62.3	4.4
29		(3)		<My grandmother gave me this watch>の文の構成を理解し、正しい語順に並べて書く。	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができる。(目的語が2つある文)				イ		○	○		52.3	5.2
30		(4)		<I have a lot of homework to do>の文の構成を理解し、正しい語順に並べて書く。	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができる。(形容詞的用法の不定詞)				イ		○	○		31.4	4.7
31		(1)		対話文の内容を読み取り、それを使ってよいかという内容の文を、適切に書く。	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができる。(May[Can] I ~ ?を使ってたずねる)				イ	○		○		11.5	31.2
32		(2)		対話文の内容を読み取り、それを使ってよいのかという内容の文を、適切に書く。	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができる。(場所をたずねる)				イ	○		○		12.5	29.6
33				There is/areを用いて、自分が住んでいるところにあるものを書く。	与えられたテーマについて自分の考えや気持ちなどを整理し、読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くことができる。	オ				○		○		48.5	19.3
34				いづれかの文に、自分が住んでいるところにあるものについて説明する文を書く。	与えられたテーマについて自分の考えや気持ちなどを整理し、読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くことができる。	オ				○		○		50.3	19.3
35				テーマにそって、自分が住んでいるところにあるものについて30語以上で書く。	与えられたテーマについて自分の考えや気持ちなどを整理し、読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くことができる。	オ				○		○		28.8	19.3

※1読むことに必要な表現、文法についての知識を問う
 ※2書くことに必要な表現、文法についての知識を問う



成果・改善が見られる問題

第1学年

正答率 89.7%

■問題番号 1 (2)

■問題の内容

英文 (My brother plays baseball, but he doesn't play volleyball.) を聞き取り、適切なものを選ぶ。

■出題のねらい

英語 (モノローグ) を聞いて、基本的な英語の音声の特徴を捉え、情報を正確に聞き取ることができる。(動作)

第2学年

正答率 82.0%

■問題番号 5 (1) ④

■問題の内容

対話文に入る適切な語句 (to be) を選ぶ。

■出題のねらい

「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けている。(名詞的用法の不定詞)



授業全体を「実際のコミュニケーションの場」とする

○分析・考察

日常的で簡単な事柄について必要な情報を聞き取ったり、読み取ったりする力に改善が見られる。このことから日々の授業において、学校や家庭生活といった身近な話題について、自然な口調で話される英語を聞く機会を多く設定したり、文脈の中で英語の意味を推測しながら読むことができていると考えられる。

○学習指導に当たって

聞く場面をより日常生活に近づけるためには、英語を1回だけ聞かせて理解したり応じたりするなど、日常的に「聞くこと」を通して理解する指導を継続する必要がある。また、英語を2回聞かせる場合も、2回目は違う聞き取りの視点を示したり、要点だけを伝えたりするなどの工夫をすることが大切である。さらに、生徒が英語の音変化やリズム等に慣れることができるよう、発話の速度についても留意することが求められる。

また、英語を読んで必要な情報を理解するためには、学んだ語や文法事項を実際のコミュニケーションにおいて活用できる力が必要である。そのため、家庭学習や帯活動で継続的に定着を図ることが求められる。



課題が見られる問題

第1学年

正答率 7.6%

■問題番号 4

■問題の内容

対話を聞いて、資料を基に適切な英文を書く。

■出題のねらい

対話 (ダイアログ) の内容を聞き取り、資料を基に応じることができる。

第2学年

正答率 11.5%

■問題番号 9 (1)

■問題の内容

対話文の内容を読み取り、「それを使ってもよいか」という内容の文を、適切に書く。

■出題のねらい

語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができる。(May [Can] I~? を使ってたずねる)



領域を統合した言語活動の充実

○分析・考察

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、聞いたり読んだりして理解した情報や考えなどを整理し、自分の考えを話したり書いたりして表現することに課題が見られる。このことから、話し手や書き手の依頼や提案を聞いたり読んだりし、適切な応答を相手に返すような領域を統合した言語活動が不足していると考えられる。

○学習指導に当たって

「聞くこと」の指導では、アドバイスを書くためにメッセージを聞くなど、目的をもって英語を聞くことを日常的に繰り返す必要がある。「読むこと」の指導では、一文ずつ解説しながら全体の理解につなげる読み方ではなく、文章全体を読んで大切な部分を捉えさせる等の読み方が求められる。また、英文の意味を理解するだけでなく、賛否や感想、自分の考えなどを話したり書いたりして表現するなど、領域を統合した言語活動が大切である。言語活動を行う際には、生徒が目的や使用場面を意識して行うことができるよう、具体的な課題を設定し、その目的を達成するために、必要な言語材料を取捨選択しながら自分の思いや考えを伝えることができるように指導することが重要である。